

SCTノート(3)

伊藤, ひろみ / 三浦, 有紀 / 田邊, 満彦 / 柴田, 崇浩 / 三枝, 将史 / 久保寺, 美佐 / 伊藤, 隆一

(出版者 / Publisher)

法政大学小金井論集編集委員会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学小金井論集 / 法政大学小金井論集

(巻 / Volume)

3

(開始ページ / Start Page)

127

(終了ページ / End Page)

170

(発行年 / Year)

2006-03

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00004342>

SCTノート(3)

Suppliments on Seiken-shiki SCT(3)

伊	藤	隆	一
伊	藤	ひろみ	
久保寺	美	佐	
三	枝	将	史
柴	田	崇	浩
田	邊	満	彦
三	浦	有	紀

SCT ノート (3)

Suppliments on Seiken-shiki SCT (3)

	*1 伊 藤 隆 一	
*2 伊 藤 ひろみ	*3 久保寺 美 佐	
*4 三 枝 将 史	*5 柴 田 崇 浩	
*6 田 邊 満 彦	*7 三 浦 有 紀	

(1) 精研式 SCT とは

精研式 SCT (文章完成法テスト: sentence completion test) (佐野・榎田、1960) における符号評価の実際を説明した『SCT ノート (1)』(伊藤ら、2004)、企業の人事・キャリア開発現場、医療(クリニック)現場における SCT の活用例について述べた『SCT ノート (2)』(伊藤ら、2005) に引き続き、本稿では、「大学学生相談室における活用例」「高等学校での学級経営、学習指導、生徒指導、進路指導等への活用例」「児童相談所における活用例」を紹介していきたい。

精研式 SCT そのものについては、本稿末尾の「(5) 文献」にあるテスト用紙、手引、事例集を、また、SCT を用いたパーソナリティ把握技法のトレーニングについては、榎田パーソナリティ研究所のホームページ (URL : <http://homepage1.nifty.com/makita-personality/>)、慶應義塾大学産業研究所のホームページ (URL : http://www.sanken.keio.ac.jp/index_i.html) の「教育活動」「SCT セミナー」「活動年次報告」を参照願いたい。

精研式 SCT は、1960 年に、佐野勝男・榎田仁両博士 (ともに、慶應義塾大学名誉教授) が開発・刊行した投影法心理テストである。「子供の頃、私は」といった文章の比較的短い書き出し (刺激文) を提示し、その後に、思いつくことを自由に記述させる (反応文) という形式のものである (図 1 参照)。刺激文は全部で 60 (Part I、Part II それぞれ各 30) あり、パーソナリティ全体を広くカバーするように工夫されている。そして、それらに対する反応文から、個人のトータル・パーソナリティを幅広く把握できるようになっている。精研式 SCT は、

教育、医療、司法、福祉、企業現場など、さまざまな領域で広く活用されている。

精研式 SCT は他の心理テストにはない特徴をいくつか持っている。1) その第一は、トータル・パーソナリティの把握をめざしている点である。大部分のテストは、個人のある 1 つの側面に焦点を当てて作られている。たとえば、知能検査は、知能に焦点を当てて、知能指数 (IQ) という客観的な指標を算出できるように作られている。しかし、これを用いて性格や指向を把握することは困難である。一方、精研式 SCT は、「環境・生活史」「身体」「知的能力」「性格・心の安定性」「指向・意欲・興味・関心・態度・人生観・生活態度」といったパーソナリティの諸側面全体を把握できるように工夫されている。2) 第二の特徴はスコアリング (得点化) や数量的分析をあまり重視しない点である。パーソナリティの把握にあたっては、パーソナリティの諸側面を広くカバーするように並べられている SCT の刺激文 (表 1 参照) に触発された反応として記された、日常われわれが使っている「生の言葉」そのものを重視する。しかも個々の反応文単独ではなく、反応文相互を重層的に重ね合わせながら了解していくことによって、生きたパーソナリティの全体像を柔らかく再現し、記述する「内容分析・現象学的把握」という手法を用いる。これは、あらかじめ用意された質問項目に返答を求める半構成的面接とほぼ同じ状況を紙上で行っていくことに他ならない。SCT が半構成的紙上面接と言われるゆえんである。こうした技法は、熟練した講師の

Part I	
1.	子供の頃、私は _____

2.	私はよく人から _____

3.	家の暮らし _____

4.	私の失敗 _____

5.	家の人は私を _____

図 1. 精研式 SCT の一部

表 1. 精研式 SCT (成人用) の刺激文

側面	スキーム	刺 激 文		合計
		Part I	Part II	
環境	社会	1 子供の頃、私は 13 人々 18 仕事 20 世の中 26 職場では 29 女	3 友だち 8 男 10 学校では 11 恋愛 16 金	11
	家庭	3 家の暮し 5 家の人を私は 9 私の父 17 もし私の母が 21 夫 25 私の兄弟 (姉妹)	1 家では 6 私の母 12 もし私の父が 18 妻 23 結婚 26 家の人を	12
身体		15 運動 27 私の顔	9 私の眠り 20 私の健康	4
能力		14 私のできないことは	15 私の頭脳	2
性格	気質	2 私はよく人から 22 時々私は	4 私はよく 22 大部分の時間を	4
	力動	4 私の失敗 6 私が得意になるのは 7 争い 24 私の不平は 30 私が思いだすのは	2 私を不安にするのは 19 私の気持 21 私が残念なのは 24 調子のよい時 25 どうしても私は 30 私が忘れられないのは	11
指向		8 私が知りたいことは 10 私がきらいなのは 11 私の服 12 死 16 将来 19 私がひそかに 23 私が心ひかれるのは 28 今までは	5 もし私が 7 もう一度やり直せるなら 13 自殺 14 私が好きなのは 17 私の野心 27 私が羨ましいのは 28 年をとった時 29 私が努力しているのは	16

※「SCT 手引」p.65 の図表 3・1 (横田ら、1997) を改変したもの。

下で経験を積むことによって初めて修得可能な方法であるが、このようにして身につけたパーソナリティ把握の能力は、カウンセリングや面接、OJT など、あらゆる場面で他者を理解する際に役立つものになる。ただし、精研式 SCT でも、実際の利便性と、ある程度の客観性を保証するために、8つの「符号評価」を取り入れている。「ener.」「diff.」「type」「G」「H」「N」「secu.」「意欲」である。

3) 第三の特徴は実施が容易なことである。施行は個人でも集団でも可能で、また、施行・評価ともに比較的短時間のうちに済ませることができる。

本稿では、こうした特徴を持つ心理テスト、精研式 SCT がさまざまな分野・領域でどのような活用のされ方をしているのか、その一端を述べていくことにする。なお、本稿(2)の原文は伊藤ひろみ・柴田崇浩・伊藤隆一の論文、(3)の原文は久保寺美佐の論文、(4)の原文は三枝将史の論文であるが、全体の構成・監修・校閲は著者全員で行っている。

本稿執筆にあたり、事例やデータの提供にご協力・ご承諾いただいた関係各位に、改めて心よりの謝意を表す。また、事例提供者のプライバシー保護のために、データの有効性や信頼性を損なわない範囲で、割愛や改変を行ったことを付記する。

(2) 大学学生相談室における活用 — Z 大学 学生相談室における対人関係を主訴とするケースの発達の検討

① はじめに

学生相談室において、学生の持っているパーソナリティの問題点、社会的背景を知り、カウンセリングの方向性を見極め、深めていく目的で SCT を使用した事例について述べていくことにする。当該ケースは、その分析結果をクライアント本人にもフィードバックすることで、自己の問題点のみならず、成長、変化した面を自覚させる事も念頭において、施行したものである。

② Z 大学学生相談室

Z 大学は大都市近郊の衛星都市にある。現在の在籍学生数は約 3,500 名。教職員は約 200 名。芸術系、情報系、社会系 2 つの 4 学部で構成されている。4 学部は少し離れたところにある 2 キャンパスに分置されている。

学生相談室は、2000 年 4 月開室。両キャンパスに、それぞれ相談室と控え室を持っている。開設当初は臨床心理士の資格を持つカウンセラー 1 名が、各キャンパスを週 2 日ずつ担当していた。その後、クライアントの激増にともない、カウンセラー（臨床心理士）は 2002 年 4 月に 2 名（授業期間中は両キャンパスで週に延 6 日開室）に、2004 年 4 月に 3 名（授業期間中は両キャンパスで週に延 8 日開室）に増員されている。

表 2 に Z 大学学生相談室の活動記録を載せる。

表 2 にある主訴（来室理由）の説明、注意点と、それぞれの主たる連携部署は以下の通りである。

「学業・履修」 背景に、「心身の健康」の問題を抱えているケースも多い。

事務教務部門、留学生相談部門（事務部門）、学習相談センター（教員主導）等との連携が必要な場合も多い。

「進路・将来」 背景に、「心身の健康」の問題を抱えているケースも多い。

事務就職部門との連携が必要な場合も多い。

表 2. 学生相談室活動記録

年 度	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	(2005 年)	合 計
主 訴 (来室理由)	2000.4 ～ 2001.3	2001.4 ～ 2002.3	2002.4 ～ 2003.3	2003.4 ～ 2004.3	2004.4 ～ 2005.3	2005.4 ～ (2005.10)	
学業・履修	32(10)	55(5)	98(12)	124(9)	119(24)	(62(9))	490(69)
進路・将来	60(13)	37(6)	97(9)	128(18)	140(4)	(69(11))	531(61)
心身の健康	59(15)	118(21)	186(26)	368(28)	284(29)	(177(15))	1192(134)
性 格	60(25)	133(52)	144(39)	122(36)	92(10)	(72(26))	623(188)
対人関係	67(16)	104(21)	158(10)	161(13)	155(19)	(116(17))	761(96)
その他	17(6)	48(13)	102(18)	96(22)	155(12)	(119(24))	537(95)
合 計	295(85)	495(118)	785(114)	1000(126)	945(98)	(615(102))	4135(643)

※ 上記の数字は延来室人数、() 内は新規来室人数。

心理士人数	1	1	2	2	3	3	—
延開室日数	143	141	159	223	251	(203)	—
来室率(%)	15.9(4.6)	25.4(6.1)	28.0(4.0)	27.4(3.5)	25.9(2.7)	—	—

※来室率：来室者／在籍者。在籍者：学生と教職員の総数。() 内は新規来室率。

- 「心身の健康」　すでに医療機関にかかっている学生、高校以前にいわゆる「保健室登校」やスクールカウンセリングを経験している学生、医療機関に紹介する必要のある学生も多い。現在の医療機関受診率は来室者全体の2割程度。最近特に、人格障害圏（ボーダー）と思われるケースが増加傾向にある。
- 「性　　格」　自己の性格についての相談。最初に SCT および質問紙法の心理テストを施行し、その結果説明が中心となるので、延来室回数は少ないが、主訴とは異なる問題を抱えた学生も多いので、注意を要する。
- 「対人関係」　主訴とは別の問題を抱えている学生も多いので、注意を要する。
- 「そ　　他」　教員が学生の問題で来室するコンサルテーションや、保護者からの学生の問題に関する相談などである。保護者に関しては電話での相談も例外的に受けつけている。

新規来室者は2001年をピークに減少しているが、延来室者はだいたい在籍者の25%前後で落ち着いている。年度をまたいで来室し続けるクライアント数は新規来室者にカウントしていないので、統計上新規来室者が減少しているが、来室者そのものは在籍者の7～8%程度で安定している。

学生相談室の仕事は、相談室での個人カウンセリングが中心である。授業のある期間は原則予約制としている。教員へのコンサルテーションも徐々に増加しつつある。一部、継続ケースや遠方に在住する保護者からの場合には、電話相談にも応じている。多忙のため、集団的なアプローチはできないでいる。

心理テストは、各種取りそろえてある。「自分の性格を知りたいので心理テストをやって欲しい」と来室する学生が一定の割合でおり、学生の話聞いた上で、適切な心理テストを施行し、説明する。ただし、そうした学生のなかには、実は、心理テストは来室のきっかけにすぎず、継続的なカウンセリングを必要とする別な問題を持つ者が多数いるので、施行前の会話の中や、結果説明の際には、その点を十分に注意している。

SCT は、一度そこに書いたことを尋ねれば、ほとんどの学生がより具体的に答え、説明してくれる可能性が高いので、

1. 主訴とは異なる問題点が推測でき、見立て、カウンセリングの進め方の見極めに便利
 2. 問題点が学生本人、カウンセラー双方で了解できるため、カウンセリングの内容を深めていける
 3. 来室者の現在置かれている状況や背景情報から重要な問題点を把握できる
 4. カウンセリングの進行状況（自己の問題や精神的成長）を確認できる
- などの目的で用いている。在籍する3名のカウンセラーは全員精研式SCTによるパーソナリティ把握の訓練を受けている。

学内、学外との連携は、2003年頃までに、ほぼ確立している。学外の医療機関や援助機関、学内の保健室、教務・学生生活・キャリア・留学生支援・管理部門、各種委員会等との連携、緊急の場合の運営・教学・事務部門管理者への連絡・相談体制はほぼ整ったと言えよう。ただし、どこの心療内科系のクリニックも予約で一杯になりつつあり、連携できる新たな医療機関を定期的に見つけなければならぬ状況である。また、留学生の増加により、外国語のできる医療機関を探しているが、なかなかこの地区にはないのが悩みである。

問題は、教員との関係である。クライアントと関係の深い教員と連携しなければならないケースが増加し、個人間の関係づけは質的にも深まりつつあるが、「教員組織」との連携はなかなかできないでいるのが現状である。教員を対象とした講習会も提案しているが、実現できていない。

③ 対人関係を主訴とするケース

ここでは、Z大学学生相談室に、対人関係の問題を持って来室した事例を紹介する。Dさんのケース（図2にSCT、表3にSCT評価）、Eさんのケース（図3にSCT、表4にSCT評価）である。どちらも、結果をクライアント本人にもフィードバックし、カウンセリングの内容を深めるためにSCTを実施したケースである。

a) 【事例 Dさん】

18歳。男性。大学1年生。169cm、65kg。健康強との自己申告。1年生の春に、「大した問題じゃないんですが、新しい友達の輪ができない、皆の話題に入っていけない、自分が話題の中心になりたいのにうまくいかない」という訴えで来談して、すぐに取ったSCTである。

Part I

- 1 子供の頃、私は とってもイタズラでした。よくようちえんの先生を困らせていた覚えがあります。
- 2 私はよく人から 子供っぽいと言われます。自分でも、年下の子とよく遊んだりする気がします。
- 3 家の暮らし は、一家のだんらんの場だと思えます。
- 4 私の失敗 は、私自身あまり気にしません。そのため他の人にはめいわくしてるかも・・・。
- 5 家の人は私を かほごにしすぎてる気がします。ちっともかまってくれないよりは全然マシですけどね。
- 6 私が得意になるのは まわりの人におだてられた時や、気分がノってる時です。目立ちたがりや？
- 7 争い のない平和な世界が早く来るといいと思います。
- 8 私が知りたいことは 教えてくれるまで相手にねばります。それでもダメな時は、しかたないのであきらめます。
- 9 私の父 は太っているくせにわりと運動神経が良く、見かけによりません。
- 10 私がきらいなのは ナマイキな子供です。でも普通の子供は好き。
- 11 私の服 は黒ばっかです。服はどうも黒色を好むみたいなので・・・
- 12 死 んだらどうなっちゃうんでしょうか？ユーレイになってあちこち遊びに行ってみたいですね。
- 13 人々 がいつか、人種やなんかをこえて、本当の意味で仲良しになればいいでしょうね。
- 14 私のできないことは やりません。
- 15 運動 はわりと好きですが、運動神経はありません。
- 16 将来 私は声を使う仕事につきたいです。やっぱアナウンサーかな？
- 17 もし私の母が あと 20 才若かったら最高でしたね。
- 18 仕事 をまかされると、それが終わらないかぎり他の仕事をやりたくない私・・・。
- 19 私がひそかに 思いを寄せていた高校時代の女の子が、彼氏がいるとわかった上、ひっこしました！あれはショックでしたねー。
- 20 世の中 そんなに甘くないと言いますが、けっこう何とかなるモンですよ。
- 21 夫 の母は、私のしゅうとめ
- 22 時々私は マンガを音読します！誰かに見られるとかなり気マズイです。
- 23 私が心をひかれるのは 髪をそめてない女の子ですねー。
- 24 私の不平は 身長があと 1cm で 170cm になる所！！
- 25 私の兄弟（姉妹） は、ケンカもするけど仲良しですよ。
- 26 職場では こせいのあるヤツが勝つと思います！
- 27 私の顔 、変ですか？ヘンですか！？
- 28 今までは 人にめいわくばかりかけてきました。でも、これからもめいわくはかけ続けるでしょう。それが私ですから。
- 29 女 の姉妹やイトコしかいない私、だれか男いてよー！
- 30 私が思いだすのは 父のベッドでアタマをぶつけ切ったコトですかねー。

Part II

- 1 家では フロで歌ったりしちゃいます。
- 2 私を不安にするのは 金の少ない時の自分のサイフ・・・
- 3 友だち は大事にすべきだと思います。
- 4 私はよく マンガの絵を描いたりします。全然へたっぴですけどね。小学生のとき、カービィ 128 匹描きました
- 5 もし私が 空を飛べたらなあ・・・と子供の頃からよく空想してました。
- 6 私の母 は、コワイけど、いつも私を心配してくれます。
- 7 もう一度やり直せるなら 見損ねたあの日のテレビを・・・！
- 8 男 友達けっこういます。女友達？聞かないで下さい・・・
- 9 私の眠り をさまたげる者は、何人だろうがゆるしません！
- 10 学校では 明るく元気なヘンな奴で通ってました。
- 11 恋愛 マンガ大好きです
- 12 もし私の父が もうちょっとヤセてればねえ・・・
- 13 自殺 ？考えた事ありませんよ。
- 14 私が好きなのは 家のコロッケ！
- 15 私の頭脳 は悪ぢえマシーンと子供の頃よく大人に言われました。
- 16 金 はやっぱ欲しいですね。
- 17 私の野心 「いつか大物になってみかえしてやるー！
- 18 妻 にするなら、顔よりまず性格を見ますね。
- 19 私の気持 ちをわかってくれる親友！彼はマジでいい人です！
- 20 私の健康 法「よく寝！よく食べ！よく遊ぶ！」
- 21 私が残念なのは 下の兄弟がいない事
- 22 大部分の時間を 活動についやしてます。
- 23 結婚 するなら洋風より和風で
- 24 調子のよい時 は何でもできそうな気になります。
- 25 どうしても私は 小さい虫の大群を見るとゾッとします。
- 26 家の人は なんだかんだ言いながらも私を助けてくれます
- 27 私が羨ましいのは 門限のない友人の家・・・
- 28 年をとった時 私はこのままの性格なんでしょうか？
- 29 私が努力しているのは 学校を絶対休まないこと！
- 30 私が忘れられないのは 子供の頃の思い出です。

図 2. D さんの SCT

表 3. D さんの SCT の評価

環境	両親と姉と同居。兄弟もイトコも、年の近い親戚はみんな女性ばかり。父は太っているが運動神経は見かけによらないという。母は怖いけど、自分のことを心配してくれているという。家族仲はよい。母の作るコロッケも大好き。門限があり、やや過保護気味。友人はそれなりにいるように見える。子供の頃はかなりのいたずらっ子だったようだ。家庭の文化はやや古い。表現に、カタカナや！が多用されている。ひらがな表現も多い。				
身体	ener. ~+	169cm, 65kg。健康状態は良好。自分の身体的魅力を気にしている。やや自意識過剰気味。短距離ランナー的かもしれないが、比較的行動的な感じがする。			
能力	diff. 土~+	いくつか面白い表現も見られるが、知的能力は平均的。特に、内面性があまり感じられない。判断力や将来に関する見通しなども場当たりの印象。			
性格	type ZIn	G +	H +~	N +	secu. 土
基本は軽く柔かい。外面指向、現実的、日常的、行動的。対人指向がある。生活態度はもともと明るいものを持っている感じ。反面、知性化、合理化、逃避、強迫といった防衛機制的な行動や生活態度も目立つ (I-10, 13, 14, 20, II-19)。未成熟で、幼く、夢想的なところがある。自分のことを認めて欲しい反面、自信がなく、あきらめが早く、失敗を避ける傾向がみられる。葛藤状態では、自己中心的な行動や、逃避、合理化、虚勢を張るなどして自分を納得させようとする反応が見られるのではない。ちょっとしたことで、自己評価が大きく不安定になる傾向がうかがわれる。力動性が、持って生まれたZの柔かい傾向を相当打ち消している感じ。					
指向	意欲 ~+	日常生活指向。声を使う仕事や漫画を描くことに関心がある。やや保守的な考え方。まじめに一生懸命生きようとする意欲は高い。学校生活もまじめ。			
その他	主訴である対人関係の前に、幼く、不全感が強い力動性が問題ではないか。完全主義的で、すべてうまくいかないと満足できない感じ。				

実際には、三世代同居。父はサラリーマン。広い田畑を持っている家庭で、長男として古い文化のもとで育っている。日常的な会話の範囲内であれば、一対一で話せる同性の友人はいる。親友と思っている友人も一人いる。しかし、友達の輪の中に入っていこうとしても自分との価値観や関心のある話題の違いに躊躇してしまうと言う。のちのカウンセリングのなかで、II-19にある「親友」も、実はかなり一方的に本人だけが好きな人間関係であることがわかってくる。

産業心理学の分野で、マズロー (Maslow, A.H.) の影響を受けて、アルダファ (Alderfer, C.P., 1969) はERG理論を提唱している。自己実現に至る成長の過程では、まず自分の生存や内面・外面の安定が保証されて初めて、他者との人間

関係が成立し、その後に真の成長がおとずれるという考え方である。D さんの場合には、主訴は対人関係だが、それよりも本人の性格、特に力動性の問題の方が本質的なものではないのかという見立てを持った。他者に認められたいという被認知欲求や未成熟さ、自己中心性が対人関係を阻害し、大勢の中で安定した関係が築けない性格的要因となっており、その点の自己理解がまず必要なのではないかということである。

そこで、カウンセリングでは、自己の性格を理解すること、また、「人間関係は経験の連続であり、様々な人間関係の持ち方があること」を理解することを目標にした。そして、本人が本来話したいが上手く話せない事をカウンセラーが受け止め、両者が互いの体験や感情を共有し、同時に「他者の話をきちんと聴き、その場の状況に合わせた行動とはどういった事なのか」を理解して、未成熟さを克服していくことを念頭に、継続的に面接することとした。

b) 【事例 E さん】

21 歳。男性。大学 3 年生である。170cm、60kg、健康強との自己申告。主訴は、D さんと同様の問題である。

Part I

- 1 子供の頃、私は 落ちつきのない子でした。そしてそれは、今も変わりません。
- 2 私はよく人から ヘンな奴だと言われます。
- 3 家の暮し は、家族と一緒にいいモンです。
- 4 私の失敗 そこはかとなく次に生かされている時もあります。
- 5 家の人を私は私を なんだかんだ言っても大切にしてくれます。
- 6 私が得意になるのは 人からほめられた時です。
- 7 争い のない平和な世界で暮らしたいです。
- 8 私が知りたいことは 女性にモテる方法、これです！
- 9 私の父 さん、最近めっきり毛がうすくなりました。
- 10 私がきらいなのは 苦い食べ物です。
- 11 私の服 、基本的に白か黒。
- 12 死 神の大ガマって 使いにくそうですね。
- 13 人々 よ、私を一度でいいから誉め称えて下さい！
- 14 私のできないことは 一輪車です。
- 15 運動 会で、親は私の居場所を一発で見付けられます。私は声が大きかったので・・・
- 16 将来 の夢は、声を使った仕事に就くことです！
- 17 もし私の母が 父と結婚しなければ、私は生まれませんでした。

- 18 仕事 の合間にちょっと休憩。
- 19 私がひそかに 想っていたあの娘、今では立派な彼氏付き、チクショー！！
- 20 世の中 上手くはいかないモンです。
- 21 夫 は妻を大切にすべきです。少なくとも私ならそうします。
- 22 時々私は 寝ながら文字を書いていることがあります。できた文章はイミ不明・・・
- 23 私が心をひかれるのは カワイイ女の子！
- 24 私の不平は いいかげん彼女が欲しいことです。
- 25 私の兄弟（姉妹） は姉が一人です。
- 26 職場では トップを目指します！
- 27 私の顔 、ヘンですか？ヘンですか！？・・・そうですか
- 28 今までは 人に譲ってきましたが、最後に笑うのは私です！
- 29 女 性の友達、もっと増やしたいですね。
- 30 私が思いだすのは マヌケな失敗談ばかりです。

Part II

- 1 家では ゆったりゆったりすごしています。
- 2 私を不安にするのは やっぱり学校のテストですかねえ。
- 3 友だち は大事です。
- 4 私はよく 眠気に負けることがあります。
- 5 もし私が あと5cm 背が高ければいいのに、とよく思います
- 6 私の母 さん、とっても大切な人です。
- 7 もう一度やり直せるなら 小学生から人生リトライで！
- 8 男らしさを身につけたいですね。
- 9 私の眠り 時間、平均6時間です。
- 10 学校では 授業はマジメにうけてますよ。
- 11 恋愛・・・したいです。
- 12 もし私の父が ハゲたら、息子である私も将来・・・
- 13 自殺 ？しませんってば！
- 14 私が好きなのは カレーライス、最近はオムライスも好きですね。
- 15 私の頭脳 は常人には理解不能でしょう。
- 16 金 のなる木が欲しいです。
- 17 私の野心 意外に庶民的です。
- 18 妻 を大切に作る良き夫になりたいですね。
- 19 私の気持 ちいいと感じる時は、休日寝坊できる時！
- 20 私の健康 法、よく寝、よく食べ、よく遊ぶ！
- 21 私が残念なのは 弟、妹がいないことです。
- 22 大部分の時間を 遊びに費やしました。今年の夏休み2ヶ月間。
- 23 結婚・・・したいです！
- 24 調子のよい時 、たいてい図に乗って失敗します。
- 25 どうしても私は 眠気には勝てません。

- 26 家の人は 私の大切な家族です。
 27 私が羨ましいのは 自分より背の高い人です！
 28 年をとった時 自分の孫を見たら激甘になりそうです。
 29 私が努力しているのは 絵やイラストの練習です。
 30 私が忘れられないのは 自画像が校内掲示されたことです

図 3. E さんの SCT

表 4. E さんの SCT の評価

環境 両親と姉と同居。家族仲が非常によい。特に母親にはやや固着的。不安なのはやっぱり試験のこと（Ⅱ-2）という。カタカナ表現が多い。

身体 ener. ～+ 170cm、60kg。健康強。平均睡眠時間6時間と言っているが、よく昼寝もする。睡魔には勝てないようだ（Ⅰ-22）。健康に大きな問題はない様子。
父と同じようにハゲることを心配している。身長ももう少し欲しい。男らしさを追求している。女の子にもてたい気持ちが強くなっているように感じられる。

能力 diff. 土～+ 柔軟性があり、面白い表現も散見されるが、平均的な知的能力である。内面性はあまりない。将来への見通しも、Ⅰ-20のような比較的暗い表現と、それとは逆のⅠ-16, 26, 28のような夢想的な表現が混在しており、自分のアイデンティティについて考えはじめてはいるが、落ち着くところに至ってはいない。

性格 type Zhn G ～+ H + N ～+ secu. 土～+

気質的には柔らかく、開放的な特性を持っている。現実的、日常的、行動的。対人指向がある。学校生活にはマジメに取り組む姿勢を持っている（Ⅱ-10）。やや自分に自信がないところがあり、変な奴といわれる（Ⅰ-2）、常人には理解不能（Ⅱ-15）との自己評価。誉めて欲しい、人から認められたいという、被認知欲求が強い（Ⅰ-6, 13）。未成熟。この SCT からは、家庭内の人間関係は非常に仲が良く、家庭外でも、人間関係は、あまり悪そうには見えない。

指向 意欲 ～+ 声が大きく、声を使った仕事に関心がある。自画像が評価されて、校内掲示されたことがあるという（Ⅱ-30）。現在は、女の子にもてたい、目立ちたい気持ちが強い。
「よく寝、よく食べ、よく遊ぶ（Ⅱ-20）」がモットーといえばモットー。

その他 ケース D に比較して、文章がかなり短い。自分が何者かというアイデンティティに関心があるが、やや自信がない。しかし、自分のことはかなりストレートに表現できている。目下の最大の関心は、異性関係。対人関係が異性関係に収斂しつつある感じ。

よい声をしており、その点には自信を持っている。声を使った仕事に関心がある。また、Ⅱ－30にあるのは、中学生の時、突っ伏した姿を描いた自画像のユニークさが美術の先生に評価され、校長室に長い間掲示された経験だという。

被認知欲求が強く、他者に誉めてもらいたい、認めて欲しいが、反面、あまりにドメスティックな生き方中心で、他者を引きつけるような話題に乏しく、また、ヘンに思われることを恐れている。自分が中心でないと満足できないのに、人の輪に入ろうとした時、能力や性格、指向性がともに、それを阻害する要因として働いてしまうようだ。

④ まとめ

ここまで読み進められれば、かなりの読者諸兄姉は、実は、DさんとEさんが同一人物であることに気づかれたことと思う。Dさんが2年半の年を経て、大学生として2年半を過ごし、成熟し、さまざまな体験をし、学生相談室での継続的なカウンセリングによって多少ともサポートを受けた結果が、Eさんである。

法務省版のMJSTに関する論文の中で、間をあけて2回書かせたSCTの分析をおこなっている長谷川（1976）も述べているが、期間をあけて書かれたSCTに現れるパーソナリティ像には、状況の変化や加齢にともなう変動性と同時に、ある程度の安定性（剛体性）があるように思われる。われわれの経験でも、同一人の書いたSCTは10年の間隔をおいても、よく似ているという印象が強い。

今回の2つのSCTを比較すると、Ⅰ－3、7、16、Ⅱ－3、20、21はほぼ完全に同一の表現、Ⅰ－6、11、19、23、26、27、Ⅱ－1、6、13、14、16、26はかなり似ている表現か同じ心理状態の表現になっている。さらに、DさんのⅡ－4とEさんのⅡ－29、DさんのⅡ－29とEさんのⅡ－10もほぼ同じ内容といってよい。これらの反応は、家族、身体、指向・生き方の側面の安定性を表している。

身体、能力や気質については、記述の内容にはやや変化は見られるが、当然、その底流にあるものには基本的に差異は感じられない。

家庭を中心とする環境にも大きな変化は見られない。強いていえば、父親に対する見方が、侮れない存在から、自分の将来の姿へと変貌している点が、変化といえる。

対人関係は、同性の友人との関係は比較的スムーズになってきており、また、それがうまくいかない場合でも、ストレートに感情を表出することができるようになり、バランスがよくなってきているように感じられる。実際、面接の中でも、学業の中でプレゼンテーションが上手くできたことで自信を持ってきている事が語られている。対人関係の問題は、本人の中で、自分の性格の問題性への気づきと、異性関係に転化・収斂してきているように感じられる。

指向・生き方に関しては、大学生活という比較的安定し保護された環境の中で、SCTの内容に大きな変動は見られない。すでに述べたように、指向・生き方の側面での、2つのSCTの反応の類似性は目を見張るほどである。

安定した環境の中で、D→Eさんは、生き方を変えるのではなく、自己像の認知の仕方を変えることで、環境への対応を改善し、成長してきたといえるのかもしれない。事実、有能感や自己達成感の獲得というアイデンティティの確立を含む自己の認知像や力動性をみると、防衛機制的な反応は減少し、社会性や自己評価の負の側面をオープンに語れるようになってきており、一定の適応的变化が現れていると感ずることができる。Dさんは、身長169cmで、「あと1cm背が欲しい（Ⅰ－24）」と言っているが、Eさんの身長の自己申告は170cmになっており、「あと5cm背が欲しい（Ⅱ－5）」と言っているのは象徴的である。

3年生の後期となり、本人は、就職活動の話をカウンセラーに持ち出してきている。就職活動の成否は今後の成長にかなりの影響を与えることであろうが、カウンセラーは、積極的でオープンな取り組みを勧め、また、成否にかかわらず結果を受容すること、その原因帰属について考えることをアドバイスしはじめている。

SCTがトータル・パーソナリティを把握するための有用な道具であることを明らかにすることを目的として、対人関係を主訴としたクライアントのパーソナリティの継時的変化を、SCTを用いて確認する作業を試みてみた。

(3) 高等学校における活用 — 教師による精研式SCTを活用した教育支援

① はじめに

精研式SCTは、すでに長年にわたり、学校、医療、福祉、司法、企業現場等さまざまな領域で活用されている。一方で、近年急増している児童虐待や家庭内

暴力、不登校等の問題に対応するために、現在これらの領域は広く連携して子どもの成長を支援する必要に迫られている。そこで、子どもが抱える問題の解決のために、関係機関が迅速かつ的確に連携し、情報の共有と共通理解を進めるためのツールとして、精研式 SCT は有効と考えられる。それぞれの立場で活用してきた精研式 SCT のとらえ方には多少の差異があるものと思われるが、ここでは他機関との連携を踏まえながら、高等学校での実践例から、教師による生徒支援と生徒理解のために学級経営や学習指導に生かせる今後の教育現場での精研式 SCT の活用法を論じていきたい。

② 高等学校の現状

高校生はさまざまな問題を抱えて生活している。首都圏の県立 C 高等学校（共学）で 2005 年に 3 年生 250 名（全数）に実施したアンケート結果を、図 4～7 に示す。「現在悩みがある」と回答した生徒は 45 % であり、相談相手は、「友達」が群を抜いて多く、次に多いのが「母親」、その後に「家族」「教師」が続く。「誰にも相談しない」という回答もみられる。また、現在、小・中・高校に配置されている「スクールカウンセラーの存在」を知っている生徒は 7 割を超えるが、相談の場である「相談室の場所」を知っている生徒は 3 割と、実際に利用されるケースが少ないことがわかる。

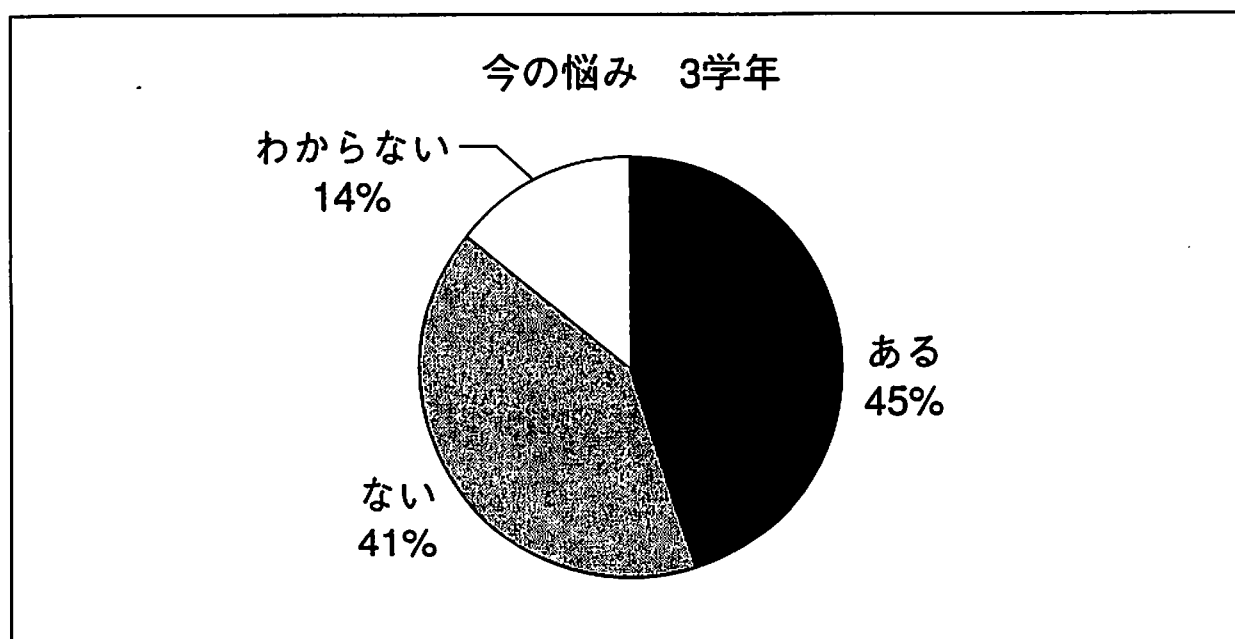


図 4. 現在の悩み

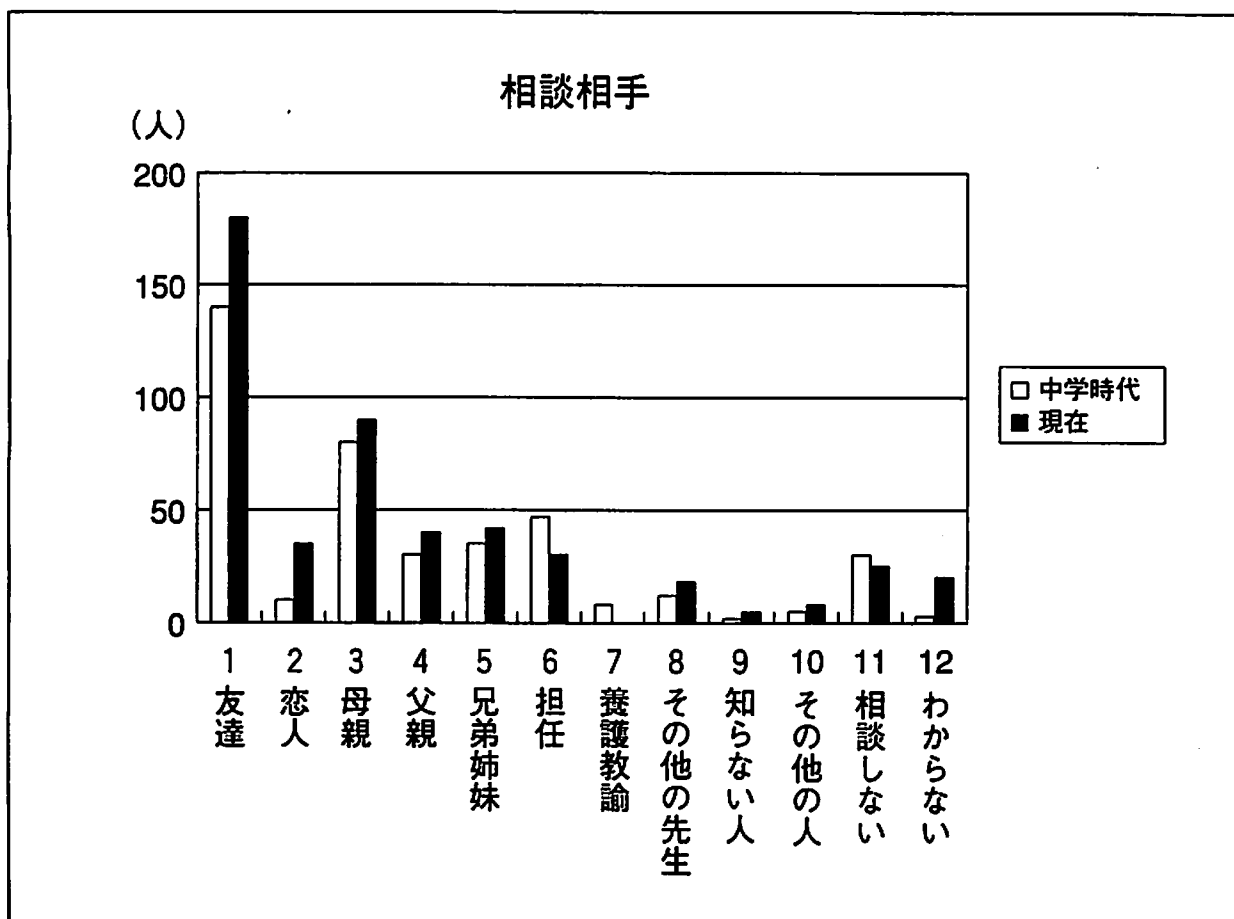


図 5. 相談相手

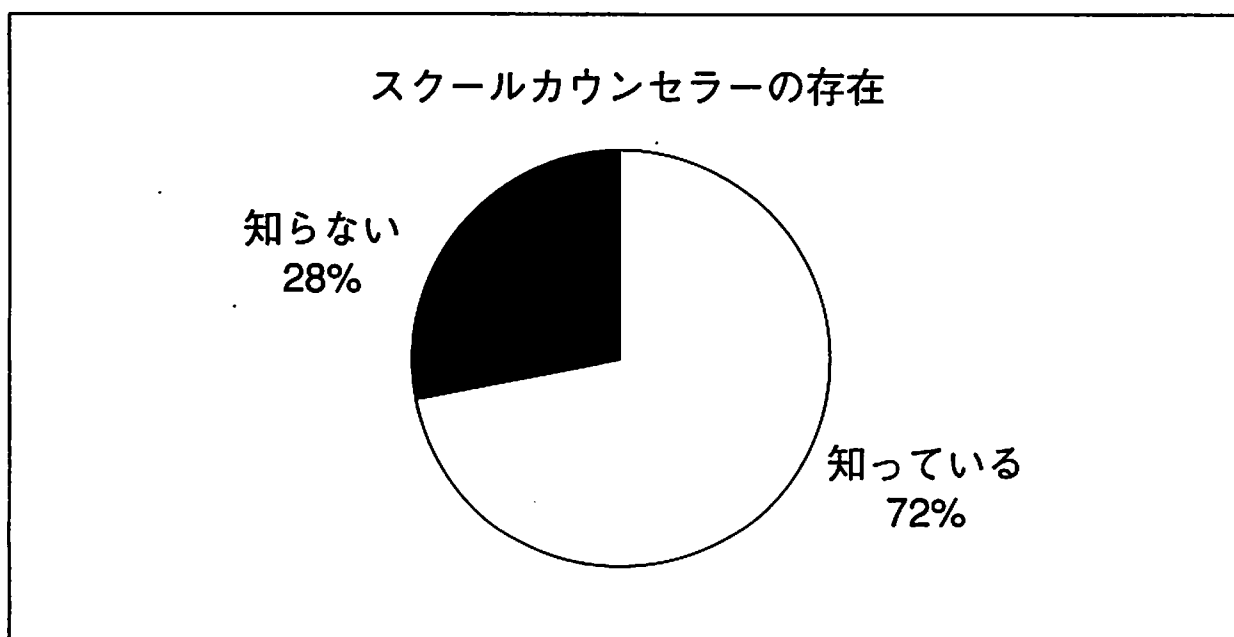


図 6. スクールカウンセラーの存在

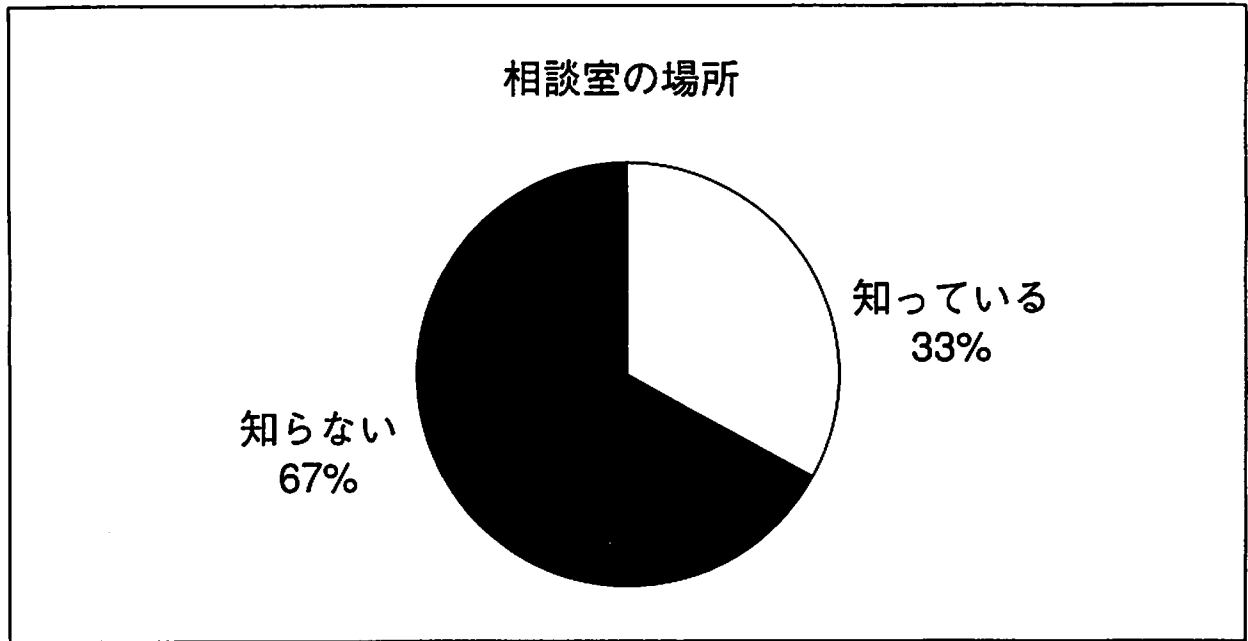


図 7. 相談室の場所

このアンケート結果から、

1. 多くの高校生は悩みを持っている
 2. 大人に対して悩みを相談する高校生は少ない
 3. 実際に相談室を活用しているケースは少ない
- という、高校生の現状が浮かび上がった。

また、実際にスクールカウンセラーに相談したいと希望しても、月数回程度のスクールカウンセラーの来校日だけでは迅速な対応が難しいという現状がある。そこで、心理の専門家であるスクールカウンセラーと連携をとりながら、教師が生徒の抱える問題に対応していく時に大きく役立つと思われるのが、精研式 SCT である。

次に、精研式 SCT を授業・クラス経営に取り入れた実践例を紹介し、その有効性を検討したい。

③ 高等学校における精研式 SCT の実践

a) SCT の実施

こうした現状にある高校生には、4 月の早い段階で精研式 SCT を実施することが有効である。その主なメリットは次のとおりである。

1. 直接会話を行うコミュニケーションではなく、文章による自分自身への問いかけが有効である
2. その結果を早めに返す
3. データを蓄積し、その後の在学中の生徒指導に生かす
4. 学級や学年の生徒の傾向を知ることができる

著者は、高等学校で社会科教諭として日本史、世界史、現代社会などの教科を担当して生徒に関わってきた。また、同時に校務分掌では、教育相談部、保健管理部、進路指導部といった分野を担当し、教科以外の側面からも生徒の支援を進めてきた。さらに、生徒への関わりが最も深いのが、学級担任・学年団としての立場である。高等学校では、教師は授業担当者としては1年間、担任・学年団としては3年間のスパンで生徒に関わることが多い。3年間の生徒の成長を支援し、将来の生活に向けた進路を考えさせ、道筋を作り、卒業につなげていくことは、ある意味では高校教師としての職務の中心であり、この仕事に携わるエネルギー源ともなる部分である。

その教育活動の中で、4月に新しく出会った生徒にまず実施しているのが精研式SCTである。生徒が主体的に社会科を学習するために最初に必要なのは、まず自分自身を振り返り、見つめなおすことである。授業のオリエンテーションの最初に精研式SCTを実施すると、大方の生徒はこれからの1年間の学習のスタートとして熱心に記述するが、生徒によっては戸惑いを感じる者もいる。そこで、記述内容は思いついたことをありのままに書くことが大切であり、優劣はなく、評価の対象ではないことを丁寧に説明する。ここでそれぞれの生徒の個性を尊重する教師としての姿勢が生徒に理解されると、生徒のその後の学習への取り組みがスムーズに進むことが多い。

検査の分析結果は、個人結果シートで返すことを伝え、自分自身を知りたいと考える生徒は期待して待つことになる。3年生には、特に進路選択の手がかりになることを伝え、遅くとも夏休み前には結果を返却することを約束する。

さらに、学級担任として担当するクラスの分析結果については、クラス経営に直接活かすことができる。精研式SCTは個人に対する心理検査のひとつであるが、クラス全体の結果を総合的に分析することにより、クラスの傾向や支援の必要な生徒の把握が可能になる。あわせて、河村茂雄(2004)のQ-U(学級満足度尺度)を実施することも有効である。この2つをテスト・バッテリーとして組み合わ

せることにより、個人と集団の両面からアセスメントができることになる。

精研式 SCT はクラスで一斉に実施できるので、学校で利用しやすい検査である。思いついたことを記述すればよいので、本当の事実だけを書かなければいけないというプレッシャーもなく、生徒はのびのびと記述をすることができる。標準的な所要時間は 50 分の授業時間で収まるが、記述の速さにも個人差があるので、完成しない生徒は次回の授業で提出すればよいことを伝える。一気に書きあげて、友達同士で見せ合ったりする生徒もいるし、人のいないところでじっくり書きたいと持ち帰る生徒もいる。記述の様子を観察するだけでも、生徒の特性やそのクラスの雰囲気がある程度つかむことができる。

前述の通り、高等学校では、教師は授業担当者として 1 年間、担任・学年団として 3 年間生徒に関わる人が多いので、追跡調査が可能である。精研式 SCT で最初に捉えた生徒の分析結果をベースにその後の生徒指導を進めていくことができるので、個人面談をクラス全員に 1 回実施したのと同じような効果が得られる。ちなみに、一人 10 分の個人面談をクラス全員に行うと、朝の始業前、昼休み、放課後を利用しても 2 ～ 3 週間はかかってしまう。そのため、最初に精研式 SCT を実施してから個人面談を行うようにすると、個人面談を数回実施したような生徒理解が可能になる。精研式 SCT を体験した生徒の感想を聞くことから面接に入ると、生徒との関係作りも容易になる。

b) SCT の分析

著者は、高等学校における精研式 SCT の分析方法として、ワークシートを自作し、生徒への結果報告のために個人結果連絡票を作成した。これは、精研式 SCT 実施後、その結果をできるだけ早い時期に生徒本人に返すことを目的とし

表 5. SZE の特徴

S の特徴

- 1 友達とは、深く付き合う友人が数人いて、他の人には、あまり本心を見せない。
- 2 人の考えに惑わされない強さがある。
- 3 信念を持って行動できるが、人に押しつけることはしない。
- 4 感情の波はあまりないが、それが冷たいとか、非情と思われてしまうこともある。
- 5 客観的に物事を見ることができ、人の気づかないことに気づくことが多い。
- 6 自分の好き嫌いがはっきりしていて、人の影響を受けない。
- 7 自分の価値基準を持ち、他人の考えに影響されないところがある。

- 8 お金は普段あまり使わず、自分の好きなことにばっと思ってしまうことが多い。
- 9 感情の波はゆるやかで、怒りが爆発するようなことは滅多にない。
- 10 考えていることをあまり口に出したりしない方である。
- 11 内面の世界が豊かで、色々空想したりすることが多い。
- 12 いろいろ考えると暗くなることがある。
- 13 自分の興味の無いことには、なかなか取り組めない方である。

Zの特徴

- 21 思っていることが顔に出ることが多い。
- 22 機嫌がいいか悪いか、友達にすぐ見抜かれてしまう。
- 23 自分の好きなことにのめり込みやすいが、さめるのはい。
- 24 一つのことをこつこつやるのは性に合わない。
- 25 よく笑ってはしゃぐ時と、訳もなくしょんぼりする時がある。
- 26 友達が多い方である。
- 27 友達と喧嘩をすると、一時的にかっとなるが、後々まで引きずることは少ない。
- 28 何となくお金がなくなっていくような使い方をする。
- 29 こだわりがなく、誰とでも、仲良く平和に接することができる。
- 30 暖かい社交性があり、友人を作るのは得意な方である。
- 31 感情の波は豊かだが、あとには引きずらない方である。
- 32 誰かに甘えたいと思うことがよくある。
- 33 調子の良いときと悪いときの差が大きい。
- 34 時に一人になりたいと思うが、すぐ寂しくなり、自分から人に働きかけてしまう。
- 35 柔軟な考え方ができる方である。
- 36 明るく、周囲の人にも楽しさを与えられる所がある。
- 37 正直で素直な所がある。

Eの特徴

- 41 道徳的観念が強く、自分の意志を貫こうとする態度が見られる。
- 42 ねばり強く一つのことに向かうことができる。
- 43 人の意見に振り回されずに、始めたことを最後までやり通すことができる。
- 44 すぐに自分を出すことはできないが、打ち解けると親身になって相談に乗る。
- 45 人に対する思いやりがあり、困ったときに頼られる所がある。
- 46 情をはさまず冷たく考えることは好きではない。
- 47 何かをいやになっても、少したつと気を取り直しもう一度やってみることができる。
- 48 常識に富んでいて、節度がある。
- 49 物事を落ち着いて、冷静に見つめることができる。
- 50 こうあるべきだという社会規範を大事にして、自分にも厳しい判断をしてしまう。
- 51 物事を割り切って考えることができず、いろいろ考えてしまい、解決が遅いほうである。
- 52 過去の出来事にいつまでもこだわる場所がある。
- 53 根気強い面があるので、将来に向かって、じっくり考えて行動することができる。
- 54 積極性を身につけるとより発展できる。

- 55 何事にも積極的に挑戦することで、自分の世界を広げられる。
 56 気配りや配慮性があり、友人からの信頼もあつい。
 57 頼りにされると断れないところがある。
 58 感情の波はだんだん高くなる方で、尻上がりに熱がこもってくる所がある。
 59 エネルギーは旺盛で、一度熱中したものは、休みなく続けてしまう。
 60 お金は自分の好きなことにばっと使ってしまうことが多い。

表 6. 個人データ一覧表

番 号	氏 名	特 徴 1	特 徴 2	特 徴 3	特 徴 4	特 徴 5	特 徴 6	知的 作業 能率	意 志	自 信	気 分 変 化	自 己 顕 示	精 神 の 分 化 度	タ イ プ
1	A	51	56	57	10	58	43	6	6	6	5	6	6	Es
2	B	5	1	32	43	42	11	8	7	6	6	7	8	Es
3	C	22	24	25	31	33	34	5	5	6	7	6	6	Z
4	D	1	2	3	5	10	11	6	6	6	5	6	6	Se
5	E	11	23	33	5	44	8	6	6	6	6	6	7	Ez
6	F	9	13	6	34	32	57	6	6	5	5	6	6	Se
7	G	11	1	3	32	45	41	6	6	5	5	6	7	Se
8	H	7	1	11	51	10	2	7	7	8	4	8	7	Se
9	I	23	31	22	45	34	37	7	7	6	7	6	7	Ez
10	J	42	2	3	5	9	11	7	7	6	5	6	7	Se
11	K	29	45	56	57	32	35	6	5	6	6	6	6	Ez
12	L	1	2	7	10	41	44	5	5	5	5	6	5	Es
13	M	41	50	51	53	57	11	6	6	5	5	6	6	Es
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

ている。4月からスタートする1年間の中で、日々の高校生の変化は目を見張るものがある。そのスピードに教師が対応するためにも、分析結果はできるだけ早く完成させたい。生徒の中には、精研式 SCT に何を書いたかすっかり忘れてしまう者もいれば、結果はまだかと会うたびに催促する生徒も現れる。そのため、

まず、主な特徴を1回目の評価として、個人結果連絡票を作成し、生徒にフィードバックする。その結果について相談したい生徒には、個人面談を受けつける。つまり、ワークシートはスクリーニング的な要素が強い。

さらに気になる生徒については、定式に従った詳細な分析を実施した後に、それらのデータをもとに、担任や養護教諭、スクールカウンセラーと連携を図るこ

SCT 個人結果連絡票

4月に行ったSCTの個人結果を報告します。遅くなりましたが、何かの参考になればうれしいです。自分の考えることとは全く違う結果がでたと思う人もいるかもしれませんが、自分の気がつかない一面が現れたかもしれませんから読んでみて下さい。もし、わからないことがあれば、聞きに来て下さい。

2番 氏名 B

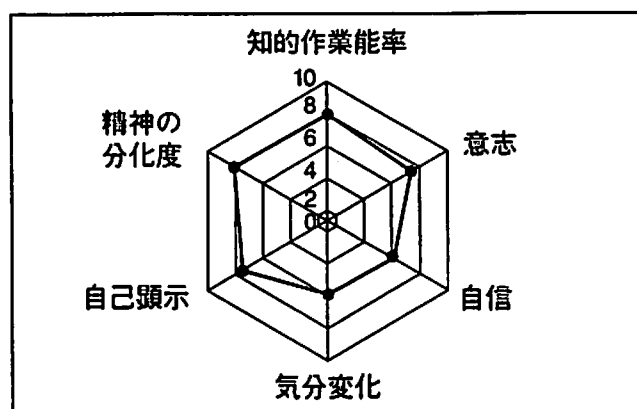
あなたの基本的なタイプは Es 型です。

〈特徴〉

客観的に物事を見ることができ、人の気づかないことに気づく事が多い。
 友達に、深く付き合う友人が数人いて、他の人には、あまり本心を見せない。
 誰かに甘えたいと思うことがよくある。
 人の意見に振り回されずに、始めたことを最後までやり通すことができる。
 ねばり強く一つのことに向かうことができる。
 内面の世界が豊かで、色々空想したりすることが多い。

〈傾向〉

知的作業能率	意志	自信	気分変化	自己顕示	精神の分化度
8	7	6	6	7	8



この検査では、人のパーソナリティをS型 Z型 E型の三つのタイプに分類しています。それぞれの特徴は、また機会を見て説明したいと思います。

図 8. 個人結果連絡票

ともできる。

SCTの実施を始めた当初は、符号評価と長文の総合コメントを載せた連絡票を作成していたが、年間150～200名程の生徒のデータを早い時期に返却することはできなかった。学年末の3月になってしまう年度もあった。そこで、定式的なパーソナリティ把握法から逸脱することになってしまうが、やむをえず、本来の精研式SCTの符号評価法をできるだけ踏襲し、生徒の特徴を重視しながら、表計算ソフトを利用し、一覧表を作成することにした。これによって、手書きで作成していたころとは比べものにならない程スピードアップすることができ、生徒にも好評である。

ワークシートでは、表5のSZEの特徴から当てはまる項目を6つ選び、表6のようにSZEのタイプを分類する。生徒に返却する内容なので、表5にはあまり悪い表現は準備していない。さらに、傾向として、知的作業能率・意志・自信・気分変化・自己顕示・精神の分化度の6項目を10段階の数値で評価する。個人結果連絡票ではレーダーチャートも示す。図8に個人結果連絡票の例を示した。

④ 高等学校の事例から

【事例 Bさん】

ある年度に担当した生徒のタイプ別の結果は、表7のとおりである。SZE単独のものは少なく、複合型のものが多くなっている。ここでは、Eに関連する複合型が、総数では127名と9割に達している一方で、単独のEが0という興味深い結果となった。個々の生徒は様々なベースを持つが、担当生徒全体を見ると高等学校という集団生活を送る上で、大部分の生徒がルールを守り、集団を維持していこうとしている傾向が現れたものと思われる。

表7. タイプ別の人数

タイプ	S	Se	Es	E	Ez	Ze	Z	合計
人数	6	40	45	0	8	34	8	141

ここで、Bさん（17歳、女性）の事例（図9）を紹介する。

Part I

- 1 子供の頃、私は よく外で遊ぶ子でした。そしてよくけがもしていました。わりと活発な方だったかなあ・・・。
- 2 私はよく人から かわってるとか、おもしろいとか、落ちついてるとか言われます。じつは～だね、とか印象・見かけとはちがうとも言われる。
- 5 家の人は私を おバカで、ぬけてるけど、一応やることはちゃんとすると言う。あと、プレッシャーによわく、ちょっと自己中で勝手。
- 7 争い はきらいで、まきこまれたくないと思っている。でも争いごとになった時は言うことは言う。あまり負けたくはない。勝ちたい。
- 8 私が知りたいことは 世の中について。今の世間のことや、今から、これからのことなどすべて知りたい。世の中のことは本当1番に知りたい。
- 9 私の父 少し頑固だけど、やさしい。行動派でよく外に出たがる。そして、何でもしたがり屋で、何でもやりたがる。めずらしい物好き。
- 10 私がきらいなのは おこる人、こわい人です。おこる人、こわい人は本当にだめで、そういう人の前になると、ひきつって、拒絶反応がおこる。
- 12 死 こわい。おそろしいものだと思う。暗い、黒い感じがする。天国というより、地獄のような感じ（イメージ）がする。人がすいこまれる。
- 15 運動 は苦手。だけどきらいではなく、何もできないわけではない。得意なものや好きなものもある。だけど、苦手に入る。
- 16 将来 は不安だし見えない。すごく不安で想像できない。将来は一応あると思うけれど、今はそれに向かってつきすすんでる感じ。
- 17 もし私の母が いなくなったら私は生きていけないと思う。何もできないと思う。あまり考えられないし、考えたくない。
- 20 世の中 はかなりかわってきていると思う。わるくなってきたと思う。若者中心で、新しい物好きで、きたなくて、よごれている感じ。
- 22 時々私は かなしくなる。時々とたんに、さみしくへこんでしまって、いっきにつらい気持ちになることがある。その時は家で泣く。
- 25 私の兄弟（姉妹） はお姉ちゃん。年はけっこうはなれてるけれど、よく話すし、合うし、遊ぶ。静かめな性格で、自分で物事をすませる。
- 28 今までは 私は変わったと思う。性格的にも行動的にも。悪くなったと思う。てきとうになったし、明るさ元気がなくなったと思う。

Part II

- 2 私を不安にするのは 人間関係。自分は人みしりすごいし、人間関係深いのは苦手なので、不安です。あと虫も。いつでてくるか分からないので！
- 3 友だち はとても大切。本当に話せる友だちはかなり大切にしていきたい大事な存在です。いっしょにいと楽しくなれる存在。

- 5 もし私が えらくて、幸せ者だったなら、みんなにその幸せ（やさしさ）を分けて、もっとちゃんといい人々だらけにしたい。そして自分自身幸せな日々をしたい。
- 10 学校では 静かめな方だと思う。仲のいい、気の合う友だちとは、すごくワイワイ盛りあがれる。自分の苦手なこともしなきゃいけない所。
- 11 恋愛 は、うかれてしまうほど、毎日が、明るくなったように感じさせるものだと思う。同時に不安がつきまとうものだと思います。
- 13 自殺 しかたないことだと思う。自分自身で決めて、しまったこと。おいつめられて、かなしいこと。悪いことだとは思いません。
- 16 金 は大切なもの。ないとやっていけないし、お金で決まってくると思うから。だから逆にとてもこわいもの。支配されている感じがする。
- 21 私が残念なのは 人がうらぎること。うそをつくこと。人がきずつけることです。3つとも関係が深く、似ていて、人の心に最大の傷をつけ、忘れられないから。
- 22 大部分の時間を たいしたことせず、ムダにのんびりすごしている……。分かっていてもつい、だらけてしまいます。でもその時はおちついている。
- 26 家の人 は みんなあたたかい。ほっとする、ほっとできる人だからだと思う。わりとみんなおちついて、私は安心できる存在だと思う。
- 27 私が羨ましいのは 自分というものをしっかりもっていて、最後までやりとげようとがんばる人。すごく、かっこよくて、本当になりたいなと思う。
- 29 私が努力しているのは もっとちゃんと自分を内面から強く、しっかりとした自分の意見をもった人になれるようにです。優柔不断なので……。

図9. BさんのSCT（抜粋）

Bさんは、授業中は目立たず、丁寧にノートをとり、黙々と学習する生徒である。成績は比較的優秀で、学習に関しては何の問題も無いので、注意を受けることもなく、教師ともあまり話をする機会がない。SCTの実施時にも集中して取り組む様子がうかがえた。

BさんのSCTの特徴は、記述量が多いことである。筆跡は、しっかりしていて、句読点もすべてに記されている。どの刺激文にもほぼ同じ量の記述があり、何事にも、手抜きをせずにきちんと取り組む姿勢とエネルギーが感じられる。ただ、本人はそのパワーを自覚していないようにも思われる。記述には、漢字が少なくひらがなが多いが、漢字の試験などでは高得点を取っており、これは漢字が書けないのではなく本人の好みと思われる。

「家族関係」については、「私の父 少し頑固だけど、やさしい。行動派でよく外に出たがる。そして、何でもしたがりで、何でもやりたがる。めずらしい物好き。(I-9)」 「もし私の母が いなくなったら私は生きていけないと思う。

何もできないと思う。あまり考えられないし、考えたくない。(Ⅰ－17)」「私の兄弟(姉妹)はお姉ちゃん。年はけっこうはなれてるけれど、よく話すし、合うし、遊ぶ。静かめな性格で、自分で物事をすませる。(Ⅰ－25)」「家の人みんなあたたかい。ほっとする、ほっとできる人だからだと思う。わりとみんなおちついてて、私は安心できる存在だと思う。(Ⅱ－26)」と、おちついた良好な関係がうかがえる。Bさんにとって、家庭は安心できる場であり、安定した生活の基盤となっている。これを本人が十分自覚していることもSCTから伝わってくる。

「対人関係」については、「私を不安にするのは人間関係。自分は人みしりすごいし、人間関係深いのは苦手なので、不安です。あと虫も。いつでてくるかわからないので！(Ⅱ－2)」「友だちはとても大切。本当に話せる友だちはかなり大切にしていきたい大事な存在です。いっしょにいと楽しくなれる存在。(Ⅱ－3)」「学校では静かめな方だと思う。仲のいい、気の合う友だちとは、すごくワイワイ盛りあがれる。自分の苦手なこともしなきゃいけない所。(Ⅱ－10)」と記述しているように、学校では仲の良い友人とは和気あいあいと語り合うが、SCTにあらわされた豊かな思考や感性を多くの人前で外に出す場面の少ない生徒である。

「能力」は中の上程度と思われる。

「性格」や「指向・生活態度」については、前述したように比較的エネルギーがあり、「将来」は不安だし見えない。すごく不安で想像できない。将来は一応あると思うけれど、今はそれに向かってつきすすんでる感じ。(Ⅰ－16)」と、不安や緊張を意識すること多いが、「私が羨ましいのは自分というものをしっかりもっていて、最後までやりとげようとがんばる人。すごく、かっこよくて、本当になりたいなと思う。(Ⅱ－27)」「私が努力しているのはもっとちゃんと自分を内面から強く、しっかりとした自分の意見をもった人になれるようにです。優柔不断なので……。 (Ⅱ－29)」のように、物事にしっかりと対処しようとしていて、内に秘めた強さを感じる。このように言語表現より文章表現を得意とする生徒のケースは、面接などからはすぐには把握できない特徴がSCTから見えてくることがよくある。

⑤ 生徒の感想から

個人結果連絡票を渡すと、生徒たちはかなり大きな反響を寄せる。SCTの施行時と同様に、一人で結果をそっと確認する者もいれば、大騒ぎで自分の結果を読み上げたり、友達同士で交換して見せ合う者も多い。そこで、書かれた感想の一部を表8に紹介する。

表8. 生徒の感想より

- ・すごい当たってビックリしました！！
特に頼られると断れないあたりがあてはまってました。改めて自分の特徴を見直せたので、とても良かったです。
- ・全部、本当にあたっていてとても驚きました。こういう心理的な授業は初めてだけど、すごく面白いです。またこういうSCTみたいな事をやってほしいです。
- ・予想以上にあたっていてビックリしました。とても楽しかったです。ぜひ来年も、このテストは続けていったほうが良いと思います。ありがとうございました。
- ・ほとんどあたっていて本当におどろきものきでした。自分の事を自分で一番わかっていたいので、僕もあんな感じで人の事をわかるようにしたいです。
- ・どういうしくみかしりたい。
- ・けっこう当たっていると思った。自分の事が文になってでてくるとまた何か見直すといういい機会でした。
- ・あってるなと思うところもあるし、自分ではそうかな？って思うところもあるし・・・。
でも友だちから見るとなかなか合っているらしい　あのテストでこんなことがわかるんだあとびっくりしました　面白いなあと思った　でた結果は悪いコトじゃなくてどれも良いコトだったので、今の自分がこういうタイプというよりも、こういうタイプになれたらうれしいなと思いました
- ・SCTの結果は、かなり当たってたのですごいと思いました。改めて、「自分」を理解することができたと思います。

発達段階として高校生は青年期の只中に当たり、内省的になったり、他者に対する厳しい評価や社会に対する批判的な態度を示すことも多い。「改めて自分の特徴を見直せた」「自分の事を自分で一番わかっていたい」「改めて、自分を理解することができた」という言説から、生徒は自己理解を強く求めており、自分の思いを文章化することにより自己を表現することができる精研式SCTは、自分とは何か、深く自分自身に問いかけ、自己理解を深める一助として、有効であることが示された。

⑥ まとめ

精研式 SCT は、生徒一人ひとりの個性を把握し、適切な教育支援を行いたいと考える教師にとって有効なツールである。精研式 SCT 実施の際には、「どうしても書けない」と、提出しない生徒もでてくる。しかし、クラスでの個人結果の返却の様子を見て、再検査を申し出てくる生徒もいる。追加で分析を行い、結果を渡すと、その後の授業への取り組みが積極的に変わる生徒もいる。生徒と教師の信頼関係を築くことの大切さを感じる出来事である。

また、毎年4月に精研式 SCT を実施していると、保護者面談の際に保護者から「いつも SCT の結果を楽しみにしている」といわれることがある。普段文章にまとめることのない自分の子どもの特徴や長所がわかるので、子どもについての書類を書くときに役立つとのことである。毎日顔をあわせている家族にとっても、客観的に子どもを捉えるひとつの機会として SCT が受け入れられていることがわかる。

卒業生に会うと、卒業後何年か過ぎていても、よく SCT のことが話題に上る。「授業の内容は覚えていないけれど、占いみたいなのがおもしろかった」と印象に残るようである。これだけのインパクトをもつ精研式 SCT を通した自己理解が、自己肯定感につながり、さらには、他者理解につながってくれることが、高校現場における精研式 SCT 実施の目標であると思う。

文部科学省（2003）によると、現在小・中学校の通常学級において、LD、ADHD、高機能自閉症により学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒は6%を越えている。やがてこれらの子供たちのほとんどは高校生になる。すでに高等学校でも、自己表現や他者とのコミュニケーションが苦手という生徒が増えている。その一方で、ネット上で多弁であったり、ヴァーチャルな世界に居心地のよさを感じる生徒も少なくない。そこで、生徒理解の方法として心理教育的アセスメントが重要になるのはいうまでもない。このような状況の中で、継続的に精研式 SCT の分析トレーニングの研修会を行っている教師集団もある。教育の現場で、精研式 SCT が必要とされ、教育に役立つ場面は、まだこれから増えていくと思われる。

(4) 児童相談所における SCT の活用

① はじめに

近年、児童が犯罪や虐待の被害に遭い、その尊い命を落とすニュースがマスコミを賑わせている。また、逆に凶悪な少年犯罪についても深刻な問題として世間の関心を集めている。著者が勤務する児童相談所は児童に関するあらゆる悩みに応じる相談機関であるが、「児童虐待」「非行」という二つの案件は相談の構成比の多くを占めており、業務の中心となっている。特に児童虐待は著者の勤務する埼玉県でも平成 16 年度に初めて通告受理件数が 2,000 件を突破し、今後一層対応の充実が求められている問題である（埼玉県中央児童相談所、2005）。児童虐待の通告を受けた場合、児童相談所は速やかに児童について社会的、心理的、医学的調査を行い、必要に応じて児童福祉施設等に措置をすることになる。この調査のうち心理的な調査を児童相談所では心理判定という。他領域の現場における心理検査にあたる。心理判定において、SCT は昔から使用頻度が高く、信頼されている検査である。しかし、実際の使われ方としては、精研式 SCT を使用しながらも、その結果の整理や解釈に当たっては必ずしも精研式で想定された定式の使用法ではないことが多く、むしろ「紙上インテーク」としての使われ方をしている場合が多かった。長年の蓄積がなされているため、確かに従来の SCT の使用法でも心理判定において SCT は一定の役割を果たしている。しかし、著者が児童相談所に着任して以来、児童に対して行った SCT を定式に従って整理し、解釈することによって、今まで以上に児童のことを把握することができ、それがその後の児童の処遇に大きく役立つことに気づいたことが少なくない。本稿では実際に SCT と TAT の結果が児童の処遇に大きく影響を与えた事例をあげ、児童相談所をはじめとした福祉領域における SCT の活用の有効性について考察を行いたい。

② 児童相談所における処遇の流れと心理判定の持つ意味合い

児童相談所において相談が上がった場合、以下のようにして処遇が進むことになる（図 10 参照）。まず児童相談所に相談がなされると担当者を決定し、インテーク面接を行う。そして、受理会議において今後の取り扱いについて方針決定を行う。ここで心理判定の必要性が議論され、必要であると判断されれば、心理判定を実施することが決定する。その後診断会議で処遇方針を再検討しながら、

施設入所、児童福祉司指導等、児童相談所による措置が必要となったケースについては、処遇会議で措置を決定することになる（この流れの中で主訴解消等の理由によりケースを終結する場合もある）。

以上のような流れの中で、心理判定は、受理会議において必要であると判断された場合、また児童福祉施設入所や里親委託、児童福祉司指導といった行政処分中に必要であると担当児童福祉司が判断し、児童心理司に依頼した場合に、実施される。

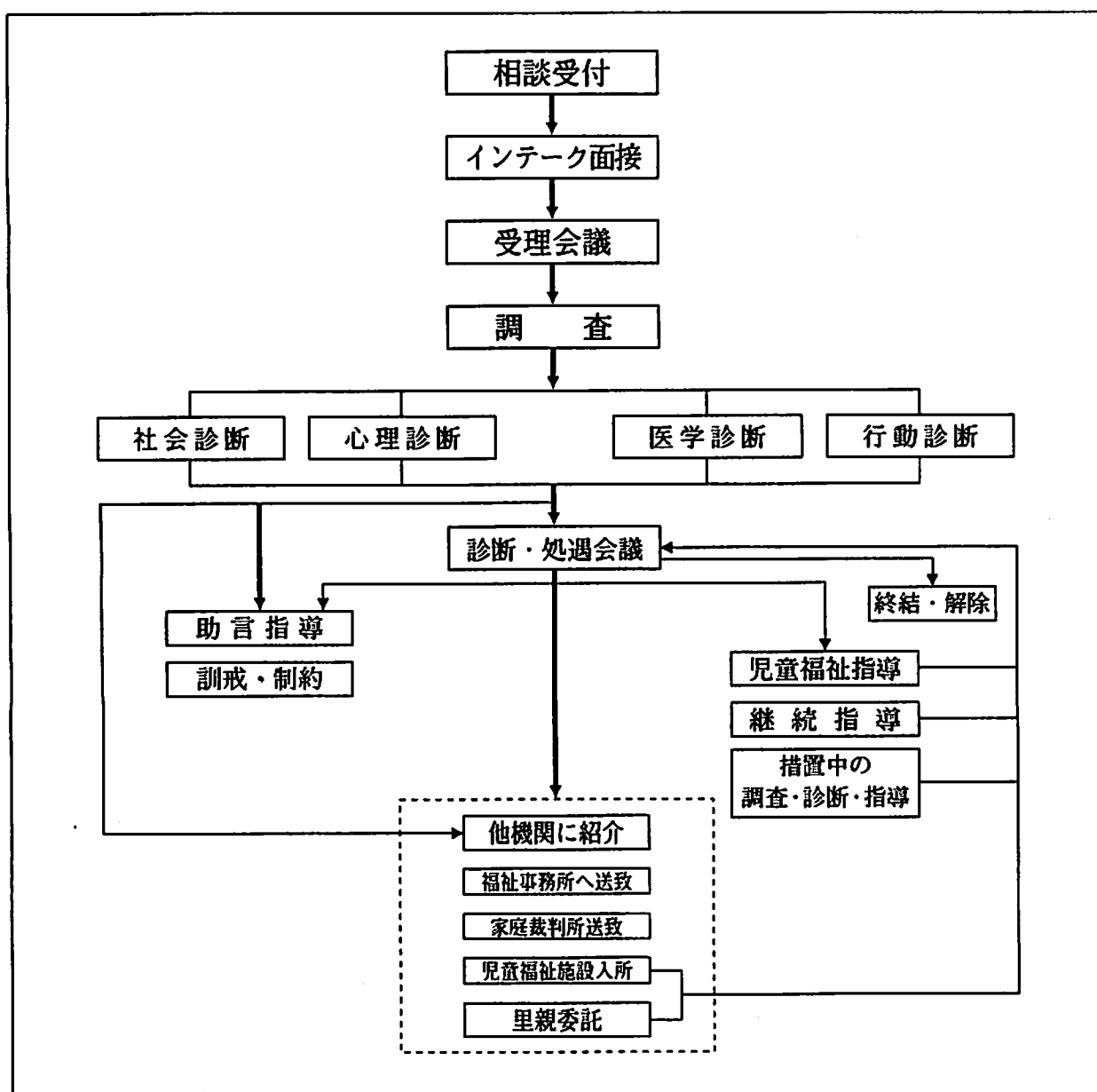


図 10. 児童相談所の相談の流れ

※『埼玉の児童相談』（埼玉県中央児童相談所、2005）p.7 を改変したもの。

心理判定においては、担当の児童心理司が各種の心理検査や行動観察を行い、どのような処遇やかかわりが児童の今後の健全育成のためにふさわしいか、意見を出すことになる。児童福祉司の行う社会的調査が児童の家族、地域、学校など児童の生活している環境がいかなるものか、つまり児童の「外側」について調査するのに対し、心理判定は児童の現在の状態（知的能力、性格傾向等）について、つまり児童の「内側」について調査するものであり、双方がそろって初めて児童の処遇を考えることができるというのが本来の考え方である。

しかし、実際に現場で処遇を考える際には児童の内側と外側、双方の情報をもとに処遇を決定するということは非常に少ない。特に施設入所の場合、県内の児童福祉施設に入所している児童の数は常に総定員の100%近くであり、その児童にあった施設を検討し、最適な施設に入所させるということはほぼ不可能である。特に児童虐待などにより児童を早急に家庭から施設へ保護することが必要とされるケースでは、保護が必要と判断された時点で、とりあえず定員に空きのある施設に入所させざるを得ないケースが非常に多い。こうなると児童相談所の業務における心理判定の意味合い、児童心理司に求められる役割というものが変わってくる。

本来、心理判定の結果をまとめた所見は処遇意見の一つとして書くものであった。しかし、すでに入所する施設が決まっている児童の心理所見は、その施設の中でどのようなかかわりが児童に求められるのかまでを考えて書くことが求められる。それに関連して、児童心理司の役割は心理判定を通して児童自身の理解をすることであったのが、県内の各児童福祉施設の形態（大舎制、小舎制）、雰囲気、入所している児童の特徴、入所後に通うことになる学校等についてまで意見が求められるようになってきた。判定をする児童心理司が日頃から把握しておかなければならない情報が増加してきたのである。つまり児童心理司の業務にコミュニティアプローチの視点がより重視されるようになってきている。すなわち児童心理司が心理判定を行う際には、児童自身についてより詳しくその資質や性格を把握するという「深さ」についての熟練のみならず、児童の現状を取り巻く環境やどのような環境でどのような行動をするのかという「広さ」についても詳しい情報を把握することが求められるようになったのである。つまり現在、児童相談所における心理判定は従来の処遇を検討する上での材料の一つという位置づけから、その後の児童の生活にも深く関わる重要なものへと、その存在が変容しな

がら、より重要なものとして扱われるようになってきている。

以上述べてきたように児童相談所において心理判定は、児童の処遇やその後を考える上でより重要なものと位置づけられてきている。本稿では、触法行為により児童相談所に通告された中学生の男子の事例を検証しながら、心理判定が児童の処遇に対して大きな影響を与えていることについて、紹介をする。特に今回取り上げる事例は、前述のような心理判定を実施した時点で措置になる児童福祉施設が決まっていたにもかかわらず、SCTとTATの結果が決め手となって、大きくその処遇方針が変更されることになった事例である。本事例を通して、児童相談所を初めとした福祉領域で行われる心理検査の中でSCTがどのように機能するかについて述べて行きたい。

③【事例 A 君】

a) 事例の概要

中学校2年生男子。度重なる万引きによって警察より児童相談所に通告があったケース。家族は幼少期に両親が離婚し建設作業員の父に引き取られる。その後父が再婚したが本児が小学生の時に父が蒸発し、その後は継母に育てられる。警察の通告を受けて担当福祉司が母子を呼び出して相談を勧めていったところ、本児の触法行為のほか、母子関係の不調により、施設保護の希望が出され、それに応じて県内の児童相談所の一時保護所に入所。本事例で取り上げる検査結果はこの一時保護中に実施したものである。

b) 検査時の様子

検査は2回にわたって行われた。体格は標準的、髪は短く刈りそろえてある。検査室へ移動する間、初対面にもかかわらず児童のほうから積極的に話しかけてくる。多くの児童の場合、一時保護中に心理判定を受ける際は、少なからず緊張するため、場合によっては初回は検査にならないこともあるのに対して、本児にはまったくそれが見られず、これから行きたい施設、行きたくない施設があること、担当の福祉司がなかなか会いに来ないことへの不満などを一方的に話してくる。検査を受けることも事前に聞いていた様子で、「テストやるんでしょ」と話しかけてくる。しかし実際に検査を実施しようとする、「面倒くさい」などと拒否的な態度を見せた。特に描画法を行う際に、促してもなかなか描こうとしな

かった。また、検査と検査の合間などには検査とは関係のない話題（検査者や担当福祉司のプライバシー等）を話してくるが、こちらが次の検査の教示を始めると、きちんと聞くことはできた。一時保護所の中では際立って目立つ行動はみられなかった。ただし、同学年の児童と交流を持っている様子はなく、常に年齢の違う児童や職員にかかわりを求めている様子があった。特に年上の児童や職員に対し馴れ馴れしく、身体接触を多く求めてくるというところが目についたという報告を受けている。

c) 知能検査・描画法の結果

知的水準は、WISC－Ⅲで全検査IQ＝85、言語性IQ＝81、動作性IQ＝92という結果から正常域下位である。ただし、実際に本児とやり取りしているなかでは、能力としてはもう少し高い印象を受ける。言語性－動作性両IQ間の差は11とやや大きいものの有意な差は見られない。その他、各群指数間、下位検査間では、群指数において知覚統合が飛びぬけて他の3つの数値よりも高く、注意記憶、処理速度との間にそれぞれ有意な差が見られた。この結果から本児は視覚的な情報の形態や空間的な位置関係を捉えるということには優れているものの、言語的な情報を処理し、表現することが苦手であるという状態がうかがえる。

人物画については、自画像と雨中人物画を用いて、本児の自己像とストレス場面にさらされた際の対処方略について検証した。自画像では実施時に本児が着ていた洋服を何度も確認しながら描きあげる。用紙の真ん中に描かれており、顔や体のパーツに特に抜け落ちている部分は見られない。また人物画を描く手順にも不自然さは見られなかった。それに対して雨中人物画では、人物画が途端に真ん中下部に小さく描かれるのみにになってしまう。雨合羽を着ている小さな人物画に向かって雷が一直線に落ちている絵を描く。状況を聞くと「ジョギングしていると雷が落ちてきてジョギングをしているこの人は死んじゃった」と答える。雨の中の「私」を描くように教示したことを確認すると、本児はそれを憶えてはいるものの、描いているうちに自分に似ていないので違う人ということにしてしまったとのことであった。この描画から本児が十分にストレスに対処するスキルを備えておらず、実際にストレスを感じた際にはそれを自分のものとして捉えることをせず、責任を他者に転嫁したり、ストレスに対処できない自分を否認することによってしか、そのストレスに対応できないということが示唆される。

d) SCT ・ TAT

次に SCT と TAT の結果を示す。

SCT (中学生用)

SCT の内容 (抜粋) を図 11 に、また、評価結果 (と背景情報) を表 9 に示す。

拒否などは見られず、書き漏らしもない。単語のみの記述も多く、誤字も所々見られるものの、刺激文と比べて著しく辻褄の合わない記述もない。記述について実施時にいくつか質問をしたものがあるが、本児曰く「あまり考えていない」らしく、Ⅰ－5「どうしても私は」の反応の「彼を好きになれない」やⅡ－20「私を苦しめるのは」の反応の「心」については、「本で読んでかっこよかったから」や「こう書くとかっこよく見えると思ったから」などと答える。記述の際にはやや考えて記述している様子うかがえるものの、その内容としてはあまりにも希薄である。また、「めんどくさい」という表現が目立ち、目の前の物事の重要性を見越して、嫌ながらもそれに耐えて粘り強く取り組むということは不向きである。先を見通す能力が、中学生であることを考慮したとしても、あまりにも乏しく未成熟さを感じさせる。また、「自分はこれだけのことを知っている」ということを表現したがついているような様子もある。葛藤解決に向けた努力は反応にも実際の行動にも見られないが、学力を気にしていたり (Ⅰ－22)、まわりと比べるような表現が目立つため、N も感じられる。基本的なタイプは、E かとも思われるが、本児の知的能力の低さ等を考慮すると気質的な側面を決定するのはなかなか難しい。その他の反応を見ていくと本児が、自分や自分の家族を他と比べて社会的に「ふつう」か否かを気にしているところもあり、本児が価値判断のものさしを社会規範に求めているようなところもある。「大人になりたい」といっていたり、「早く働きたい」といっていたりはするものの、Ⅱ－4「働くこと」では「めんどくさい」と答えるなど、職業に対する目的意識があるというわけではなく、ただ働くことで自分の自由になる「お金が欲しい」 (Ⅱ－15) ということなのだろう。事実、検査後に本児に将来の目標について聞いて見ると、「何でもよいから楽して人より稼げる仕事」と答えている。本児の度重なる万引きという触法行為も、こういった欲求を短絡的な行動によって満たそうとした側面の結果であることを否定できない。

Part I

- 1 小さい時、私は 頭から（すべり台）おちた
- 2 御飯のとき 味噌汁かけ御飯をよく食べる
- 4 学校から帰って私は ゲームをすぐにやる
- 5 どうしても私は 彼を好きになれない
- 6 運動 はつかれる
- 7 私がきらいなのは けんか
- 8 私の空想 はなにもなし
- 9 私がはずかしいと思うことは 女にはだかを見られること
- 12 もしも私が 大人になったらしごとをする
- 13 私の失敗は 母とのけんか
- 14 お父さん はいなくなった
- 17 男の友だち とは仲がいいが
女の友だち とは仲がわるい
- 18 私が知りたいと思うことは この世のすべて
- 19 けんか はきらいだ
- 20 私が好きなのは 食べ物だ
- 21 私がひそかに ラジオを聞いている
- 22 私が皆より劣っていることは 頭
- 24 大人 は言うだけでこうどうにはしない
- 25 大きくなったら私は しごとをしている

Part II

- 3 先生は やさしい
 - 4 働くこと は面倒くさい
 - 5 私がこわいのは 母
 - 6 お兄さんは いないし
お姉さんは いない
 - *
 - 7 私がうらやましいと思うのは みんな
 - 8 本 は好きだ
 - 9 時々私は よく考える
 - 10 お母さん はすこしこわい
 - 11 私になりたいのは 大人
 - 14 私の不平は いろいろある
 - 15 お金 がほしい
 - 16 時々気になるのは 家のこと
 - 18 私がくやしかったのは いまの母が、本当の母ではないこと
 - 20 私を苦しめるのは 心
 - 21 私の父の仕事 はしらない
- *実際には2行目の「は」
を塗りつぶして「も」と
書き換えている

- 22 私が叱られるのは いっぱいある
 23 私が自慢したいことは あまりない
 24 勉強 はめんどくさい
 25 家でよくいわれることは 「勉強しろ」

図 11. A 君の SCT (中学生用) (抜粋)

表 9. A 君の S C T の評価

環境	中学校 2 年生男子。幼少期に父母が離婚。その後父が再婚したことにより、父と継母、本児の 3 人暮らし。小学生の時に父が失踪。その後継母と二人暮らしになる。小学校高学年頃から度重なる万引きを繰り返すようになり、補導歴多数。これが原因で母子関係が悪化。中学生の時の万引きをきっかけに、継母から養育の限界との訴えがなされ、警察から児童相談所に通告がある。これはその後に一時保護所入所中に書いたケース。学校に関しては、成績は良くないものの、欠席は少なく、数少ないが友人もいるらしい。				
身体	ener. 土	体格は標準的。何事に対してもめんどくさがる場所があり、活動性はあまり高くない。必要最低限のエネルギーは有しているといったところ。運動についても、「つかれる」とあまり好きではない様子。自分の容姿や服装についてはあまり自信がない様子。			
能力	diff. 一土	知的水準は正常域下位。先を見通す力が弱く、その場その場で頭に浮かんだことを書いているといった印象。そのため全体を読むとちぐはぐな印象を受けることが多い。興味の対象も狭く、diff もおそらく土を割り込むぐらいだろう。			
性格	type E(s)HN	G 十～	H 十～十十	N 十～十十	secu. 一～土
記述の内容としては、物に対する欲求や、主観的な好き嫌いが中心。全般的に幼い記述が多い。本を読むのが好きなようで、大人ぶった文章を書くこともあるが、あまり本児自身の考えとして書かれたような印象は受けず、「自分はこれだけ知識がある」ということを見せたくて書いているような印象を受ける。かなりの H がうかがえる。また、「まわりよりも劣っている」という感情も強く感じられ、N も高い。実際には面倒なので努力するまでには至らないが、学力が他の児童に比べて劣っているという点を気にしていたり、ケンカを嫌うなど、規範意識がかいま見られる部分もあり、基本的なタイプは E か？また、即物的な欲求が多いが、これは本児の知的な低さからきていると考えられる。					
指向	意欲 一～土	指向としては、ゲーム、お金など、即物的なものが中心。早く大人になって仕事をしたい、それでお金を稼いで、自分の欲求を満たしたいと考えている様子。しかし、面倒くさがり屋で、実際はそれに向けて努力はできない。			

表 10. A 君の TAT の反応 (抜粋)

- 1 (じゃあ 1 枚目) っと、(6 秒) だからギターを壊して、(うん) 困っているところ。(2 秒) (でどうなるの) 親にぶったたかれるの。(ふーん) バシッて。
(バシッてね) だから困ってるんだよ。ぶったたかれるってね。(この時点では困ってるんだ) うん (結末は?) そう。
- 5 あー、このおばさんは泥棒が入って (うん)、何かなあって見ていた人。でその後後ろに二人で入った泥棒なんだけど、もう一人のほうがおばさんの頭を花瓶かなんかでガンッとたたく。泥棒はその後警察に捕まらず逃げる。
- 6 えーとねー、そーだなー、この人がこの人を刺そうとしている。ポケットの中に刃物が隠れている。でも結末は (うん)、本当はおばあさんの方が強い (強い) うん、バンバンバンバンってひっぱたいて、この男の人は逃げていく。(なるほどね意外に強かったんだ) 強かったんだ (ふーん) いいでしょこの結末ふふふ。
- 7 これはこっちが大統領でこっちの方が執事みたいなやつで、今外国の人と話していて、訳している。(あー) で、その話している人が女の人で「あなたを好きです」と訳している。え? と思ったんだけどすぐに「私も好きです」といって訳してもらっている。でここでハートマーク、いいんじゃないねえ? ハハハハハハハ。
- 10 えー、さよならのキス。でも、その人は缶コーヒーを買うためだけの (うん)、家の前にある自販機の缶コーヒーを買いにいくだけの、キス。(はー) そんだけもうくっついちゃってるの。
- 11 (8 秒) ここの辺りが洞窟か何かで、ここに動物か何かがいて、ここの人が困っているの、人っぽい。(うん、この後は) うーん、飛行機からパラシュートがピューッと降りてきて、洞窟に入る。(この人が?) 違う人が先に入るの。うん、この人あんまり意味ない。なんか面白い絵だなあ。
- 13 うわーエローい。これはこの人がこの人を間違えて殺しちゃったからうえーんって泣いているところ。(間違えて殺したんだ) 間違えて。何かねえ、ガラスなんか間違えて刺さっちゃったんじゃない? で泣いてるの。(でその後は?) で警察に捕まる。で一年後、お墓で、お葬式で、お墓の前で「すいませんでした」と謝ってたんだけど土から手がガッと出てくる。(うーん) それで引きずり込まれる。
- 14 なんだよこれ。これはトイレに入った人が、急に停電になって「やべー、つかない」って電気をパチパチパチパチやっていると。でどうしたのってみんなが来たら、パンツを下ろしたままだったから恥ずかしいってところ。(電気はついたんだ) 電気ついたよ。
- 16 (はい) あ? ねえじゃん、絵が。(うん) なんだよそれ、なんだよそれ。は? こっち (裏側) もねえの? ないじゃん、(さあ考えてみよう) はあ? ひでえ。頭の中、が真っ白 (うん)。ハハハハ、(で?) で、なんとなく本を読んだらなんとなくその本に出てくるのそこに。本の、あれが。だってそれくらいしかないでしょ。真っ白なんだから。
- 19 (次これ) 未来の、僕の家 (うん)。ここが窓で、ドア。でも今火事になっている。で、雨が降ってきて、止むんだけど、人がちょんって触っただけで灰になってファーッてなって、ガラスだけが 1 枚くらいカランカランってなる。

TAT（マレー版）

TATの反応（抜粋）を表10に示す。

どのカードも素早く話を始める。話の構成を考えて話しているというよりは、頭に浮かんだらそのまま話し始めて、話しながらその後の展開を考えているといった印象を受ける。そのため話の内容としては、結末が「結局死んでしまう」とか、「（登場人物の言動が）結局意味を持たなかった」というものも多い。おそらく実際の生活でも何か困難なことや挫折した場面においてはそれを茶化すことによってその場をごまかし、自らのバランスをとるような行動様式をとることが感じ取れる。登場人物同士の対人関係は希薄で、複数の登場人物の関係が家族というカードは見られなかった。No.19で絵を「僕の家」といいながら、それが火事の後で触れると灰になってしまうというような話があることから、いかに本児が家族とのつながりが乏しいかがうかがえる。また、TATの結果の中で最も著者が注目した点に、本児の性的な関心の表し方がある。TAT（マレー版）において、No.13は性的な関心が表れやすいとされている。ここで性的な関心や、性的な刺激への対処方法が語られることも多い。本児の場合、話の冒頭で性的な描写であることに気づいている様子を見せながら、その性的な関心を抑えて性的なものとは無縁な話を作っている。この結果だけ見れば、本児は性的な関心については非常に抑制的な人物であると見ることもできるだろう。しかし、No.7、No.10、No.14を見ると性的な表現が話の中に入っており、性的な表現に至る過程も不自然さを感じるものがある。このうちNo.10については本児のような話が語られることも少なくないのだが、No.7、No.14については性的な表現をなぜここでする必要があったかが不自然な話である。このことから、本児は性的な関心を現在取り敢えずは抑え、潜伏させているものの、それが抑えきれず漏れ出すように予期しない部分で出てくることも予想される。前述のSCTにおいても、I-17の「女の友だち」では「仲がわるい」と抑制的、潜伏的だが、I-9において「私のはずかしかったこと」として唐突に「女にはだかを見られること」という反応を見せている。

本児の年齢を考えれば、本児の中に相当の性的関心があることはおかしいことではない。しかし、その表出の時と場合が特殊であった場合、それは性犯罪となる可能性がある。この性的な関心の表現方法については本児の処遇を考える上で重要な意味を持つだろう。

e) 検査全体からの所見と本児のその後

以上の検査や観察事項の結果、本児の全体像がある程度把握できた。知的水準は正常域で、発達のばらつきについても本児の社会適応の妨げになるようなものは見られない。性格行動面については未成熟な部分が強いために先を見通して行動していくということが苦手で、欲求に対して望ましい方法を考えては見るものの本児の能力では適切な方法を考えるまでには至らず、結果として短絡的で安易な方法でそれを実現しようとする傾向があることが見て取れる。物事に根気強く取り組んでいくことも苦手で、挫折も多いが、それを茶化したり、ごまかしたり、逃避したりしてやり過ごしてしまう。本児の対人関係は、大前提として本児に家庭に守られて育ったという経験が乏しく、現に父が失踪し、継母との折り合いも悪く、本児には根本的に信頼感を獲得する機会がなかったことが大きい。人の社会性や対人関係を構築するスキルは家族内でその基礎が築かれるものである。本児についてはそれがなく、物事の責任からすぐに目をそらしてしまう本児の性格ともあいまって、責任のある個人として付き合うことが求められる同世代との関係が不調で、年下のように思い通りになる存在、年上のようにある程度自分の未熟さを認めてくれる存在としか関係が持てなくなっているのであろう。また、信頼できる存在が不在であることは、本児が目に見えるもの（金、物）をそのよりどころとせざるを得ず、ますますそうした本児の欲求を助長することにつながると考えられる。その他今後処遇上の注意点として考えられるのは、第一に、本児が早期に大人になりたがっていることである。そして第二に、年齢的なこともあり性的な関心が高まっており、本児もそれを意識している場面ではある程度コントロールできるのだが、意図しないところで性的な言動が出てくる可能性がある。それが本児の対人関係の様式から、場合によっては年下への性的ないたずらといった形で表出される可能性も懸念された。

以上のようなことを踏まえて、著者は本児の処遇として、本児にとって信頼できる家庭のような雰囲気を経験しながら信頼できる存在を作ったうえで、社会規範について厳しく指導し、なおかつ性的な問題についてより多くの配慮が望める場所として、児童自立支援施設への処遇が適当という意見を出した。その結果、担当福祉司が県内にある大舎制の児童養護施設への入所を内定させていたものの、方針転換となり、偶然定員にも空きがあった児童自立支援施設入所となった。

④ 本事例における SCT

ここで、本事例において SCT の評価結果がどのように貢献をしたかについてまとめておくことにする。

本事例において心理判定を実施する際に、児童養護施設への入所が決まっていたことは既に述べたが、このような事例の場合、心理判定に求められるものは、本児が児童養護施設に適応できるか、当該施設へ入所となった際にどのような指導・かかわりが必要であるか、という問題である。事例の概要に書いた本児の生育歴を見ていただければわかると思うが、本児が特殊な環境で育ったことを考えると、本児が家族をどのように捉え、生活の中で家族から何を教わってきたのかを把握することは不可欠である。その点において、SCT のように被検査者について「広く」把握できる検査は大変に意義のある検査であるといえる。また、本事例において処遇を変更するきっかけにもなった性的な関心についてもそれを裏づけるような役割を果たした。その傾向が最も強く表れたのは TAT であったが、それが行動観察や SCT にも同様の傾向が現れてこそ始めて、その可能性について強く主張できたことも事実である。心理判定において児童についてより深層の部分について調べるのであれば、SCT は、今回使用した TAT や、ロールシャッハ・テストといったものには及ばない。しかし、その児童について、割合表層でも広範囲にわたって情報を得たい場合、SCT は有益な情報を与えてくれる。前述のように児童相談所における心理判定は児童本人を「広く、かつ深く」把握することが求められるため、その「広さ」を確保する道具として SCT は欠かせない検査となっている。

⑤ 最後に

職場の同僚から、「SCT はよく取るのだが、どのように結果を読んで、どのように評価用紙を書けばよいかがわからない」という声を聞く。わからないために、今までは、繰り返し出てくる内容などから児童の傾向を把握しようとしたり、SCT に書かれた内容から面接を行い、その面接の結果を検査結果としていたようである。確かにそのような使い方でも十分に意味のある結果を提供してくれるものであるし、今回の事例でもそのような使い方もしていた部分がある。しかし、実際に評価用紙に記入するために何度か SCT を読み、その結果から児童の人格像についてまとめる過程では、さっと眺めただけの時とはまた違った一面が見ら

れることも多いのである。

また、本事例では SCT をデスト・バッテリーの一つとして紹介し、実施した他の検査とまったく同列に論じてきた。そもそも心理臨床の現場で一つの検査のみでその人のトータル・パーソナリティ全体を把握することは不可能なことである。必ずいくつかの検査を組み合わせて実施し、その結果をまとめてその人の全体像を把握しようとするものである。児童相談所でも、WISC-Ⅲなどの知能検査や、ロールシャッハ・テストなどの人格検査などが心理判定の中心になっている。実際、時間がなければ SCT の実施が見送られることもある。しかし、これらの検査が提供してくれるものはその人の持っている一面のごく一部を深く掘り下げたものでしかない。児童相談所はあくまでその児童が健全に育成し、社会へ出て行けるように処遇を行うことが仕事であり、そのためには児童自身から見た社会・環境やその中での児童の行動などについて広い情報の取得が不可欠である。そこで SCT のような被検査者自身やその環境について全体を広く掬い取るような検査が重要になってくるのである。

SCT には明確な解釈マニュアルがないため、また使用されている結果の整理方法がロールシャッハ・テストや PF スタディといった他の心理検査と比べて基準が曖昧に見えるため、若い心理臨床家には実施をためらう場面がよく見られる。これらの検査と比べて、「～で～のような反応があれば」とか、「全体の何%に反応があれば」など、1対1対応の解釈方法がないことが原因のようである。確かに反応一つ一つにスコアリングのような整理の基準があり、それを数値によって解釈をするための指標が多く示されている検査は検査者にとって実施しやすく、魅力的にうつるのだろう。SCT はパーソナリティの現象学的な把握を目的としており、上記のような解釈法を採用することは不可能である。というのも、たとえば反応の一つをとっても、それを書く被検査者によって、実に様々な側面を表すものである。「この刺激文は被検査者の～を表す」というような解釈法はあり得ないし、そうした手法は SCT の有効性を著しく損なってしまう。

SCT の解釈は初学者、特に臨床経験自体の浅い心理臨床家にはとっつきにくさを感じさせるかもしれない。しかし、SCT を実施した際にその結果が最大限に被検査者の将来に活かされるように、多くの心理臨床家が正しい方法を学ぶ機会を持つことを願っている。

(5) 文献

《テスト用紙、手引、事例集》

- 佐野勝男・榎田仁 1960 SCT テスト用紙（成人用） 金子書房
- 佐野勝男・榎田仁 1961 SCT テスト用紙（中学生用） 金子書房
- 佐野勝男・榎田仁 1961 SCT テスト用紙（小学生用） 金子書房
- 佐野勝男・榎田仁・坂村裕美 1961 精研式文章完成法テスト解説 一 小・中学生用 金子書房
- 佐野勝男・榎田仁 1972 精研式文章完成法テスト解説 一 成人用 改訂版 金子書房
- 榎田仁・小林ポオル・岩熊史朗 1997 文章完成法（SCT）によるパーソナリティの診断 手引 金子書房
- 榎田仁（編著）伊藤隆一・岩熊史朗・菅野陽子・西村麻由美 1999 精研式文章完成法テスト（SCT）新・事例集 金子書房
- 榎田パーソナリティ研究所 2000 自習用 精研式文章完成法 事例集（成人用） 榎田パーソナリティ研究所
- 榎田仁（編著）伊藤隆一・岩熊史朗・小林ポオル・菅野陽子・西村麻由美・榎田紋子 2001 パーソナリティの診断 総説 手引 金子書房

《その他の文献》

- Alderfer, C. P. 1969 An empirical test of a new theory of human needs. *Organizational Behavior and Human Performance*, 4, 142-175
- 長谷川浩 1976 文章完成法による人間の理解, 大原健士郎・岡堂哲雄（編）現代のエスプリ別冊 現代人の異常性 第6巻 『異常の発見 心理テスト』 pp.131-153
- 伊藤隆一・伯井隆義・田邊満彦・榎田紋子・菅野陽子・川島真・小林和久・神木直子・伊藤ひろみ・榎田仁 2004 SCT ノート（1）, 法政大学『小金井論集』、創刊号、pp. 85-108
- 伊藤隆一・田邊満彦・三浦有紀・小林和久・伊藤ひろみ 2005 SCT ノート（2）, 法政大学『小金井論集』、第2号、pp.121-150
- 河村茂雄 2004 Q-Uによる学級経営スーパーバイズ・ガイド高等学校編 図書文化社
- 文部科学省・特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議 2003 今後の特別支援教育のあり方について（最終報告）
- 埼玉県中央児童相談所 2005 埼玉の児童相談（平成16年度版埼玉県児童相談所業務概要）

-
- *¹ 法政大学工学部教授、(1) 理事・研究員・運営責任者、臨床心理士
 - *² 尚美学園大学総合政策学部・芸術情報学部講師、同大学嘱託カウンセラー、
(1) 理事・研究員、臨床心理士
 - *³ 神奈川県立住吉高等学校教諭、(1) フェロー、上級教育カウンセラー
 - *⁴ 埼玉県熊谷児童相談所相談援助担当主事、(1) フェロー、臨床心理士
 - *⁵ 文京学院大学学生相談室カウンセラー、(1) フェロー、臨床心理士
 - *⁶ (1) 筆頭理事・所長代行・主任研究員
 - *⁷ 神経科精神科ひらかわクリニック臨床心理士、(1) 監事・フェロー、
臨床心理士
-

(1) 横田パーソナリティ研究所